

とちぎの廃棄物

平成 30 (2018) 年度版

令和 2 (2020) 年 4 月

栃木県環境森林部廃棄物対策課

本書は令和 2 (2020) 年 4 月 1 日現在における栃木県内の廃棄物の状況及び当課の所管事業の概要をまとめたものです。

排出量などの数値は平成 30 (2018) 年度 1 年間の実績によるものですが、組織、施設状況及び制度については、令和 2 (2020) 年 4 月 1 日現在のものです。

目 次

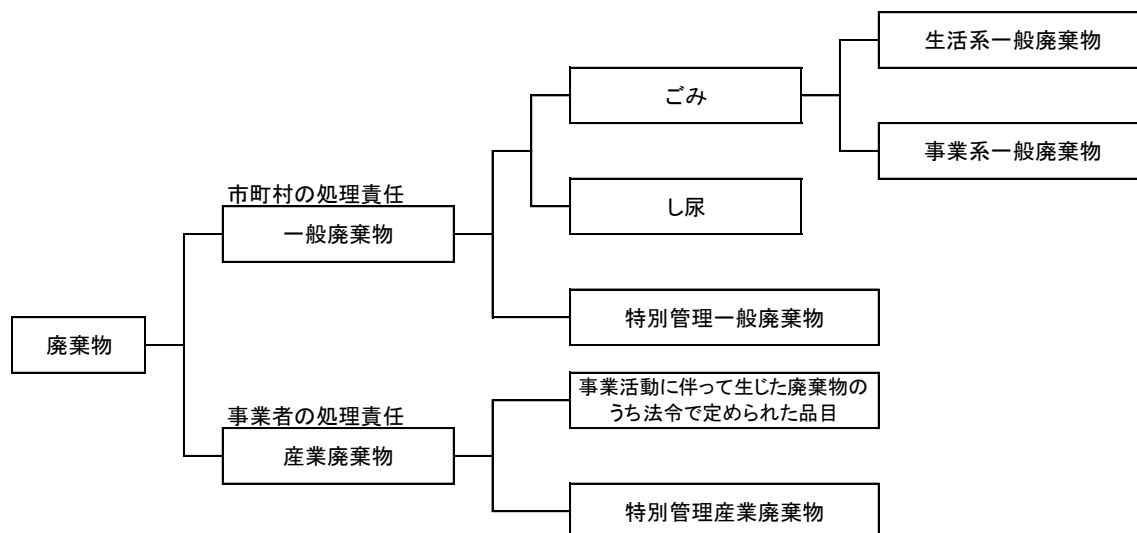
第1 一般廃棄物	1
1 ごみ処理の現状	1
(1) ごみ排出量等の状況	1
(2) ごみ処理施設の状況	1
(3) ごみ処理費用の状況	1
表1-1 ごみ排出量と処理費用の推移	2
表1-2 再生利用・最終処分の推移	2
表1-3 市町別1人1日当たりのごみ排出量・再生利用率・最終処分率	3
表1-4 市町別ごみの排出状況	4
表1-5 市町別ごみの収集状況	5
表1-6 市町別ごみの処理状況	6
表1-7 市町別再生利用の状況	7
表1-8 焼却施設の状況(市町等)	8
表1-9 粗大ごみ処理施設、資源化施設等の状況(市町等)	9
表1-10 最終処分場の状況(市町等)	11
2 し尿処理の現状	12
(1) 水洗化の状況	12
(2) し尿及び浄化槽汚泥処理の状況	12
(3) し尿処理費用の状況	12
表1-11 水洗化人口及びし尿処理量の推移	12
表1-12 人口から見たし尿処理状況	13
表1-13 計画収集量から見たし尿処理状況	14
表1-14 し尿処理施設の状況(市町等)	15
表1-15 コミュニティプラントの状況(市町等)	15
3 その他	16
表1-16 ごみ処理有料化の実施状況	16
第2 産業廃棄物	17
1 産業廃棄物に関する現状	17
(1) 排出及び処理の状況(推計量)	17
表2-1 年度別種別排出推計量	18
表2-2 年度別業種別排出推計量	18
表2-3 産業廃棄物の種別処理状況(農業・鉱業に係るものを除く。)	19
表2-4 産業廃棄物の年度別処理状況(農業・鉱業に係るものを除く。)	20
表2-5 産業廃棄物の処理状況 - 中間処理 -	21
表2-6 県内排出産業廃棄物の処理状況 - 最終処分 -	21
(2) 産業廃棄物処理業者による処理の状況(実績値)	22
表2-7 処分業者の排出地域別処理実績	22
表2-8 収集運搬業者の運搬地域別処理実績	23
(3) 産業廃棄物処理施設の設置状況	24
表2-9 中間処理施設の設置状況	24
表2-10 県内の焼却施設における熱回収の状況	25
表2-11 安定型最終処分場の設置状況	25

(4) 産業廃棄物処理業者及び許可の状況	26
表2-12 産業廃棄物処理業者の状況	26
表2-13 優良認定を受けた産業廃棄物処理業者の状況	27
表2-14 産業廃棄物処理業の許可等の状況	27
(5) 多量排出事業者の状況	28
表2-15 産業廃棄物処理計画等提出状況	28
2 PCB廃棄物の処理状況等	29
表2-16 県内で保管されているPCB廃棄物の処分期間及び処理施設	29
表2-17 県内のPCB廃棄物保管状況	29
表2-18 県内から排出された高濃度PCB廃棄物の処理実績	29
第3 共通（一般廃棄物・産業廃棄物）	30
1 各種リサイクル法等の運用等	30
表3-1 容器包装リサイクル法に基づく分別収集量	31
表3-2 自動車リサイクル法（登録・許可業者数）	32
表3-3 とちの環エコ製品の認定件数	32
表3-4 県内の産業団地等におけるリサイクル施設の立地件数	32
2 県内における廃棄物の不適正処理等の状況	33
(1) 不法投棄の状況	33
表3-5 一般廃棄物の種類別不法投棄量	33
表3-6 産業廃棄物の種類別不法投棄量	33
表3-7 不法投棄の推移	33
表3-8 一般廃棄物不法投棄件数等調査結果	34
表3-9 産業廃棄物不法投棄件数等調査結果	34
(2) 立入検査、指導及び行政処分の状況	35
表3-10 産業廃棄物関係立入検査等件数	36
表3-11 立入検査による指導状況	36
表3-12 行政処分等の状況	37
第4 栃木県廃棄物処理計画の進捗状況	38
第5 土砂条例	39
1 条例のあらまし	39
2 土砂条例許可申請状況	39
3 市町土砂条例の制定状況等	40
第6 一部事務組合設置状況	41

はじめに とちぎの廃棄物（平成 30（2018）年度版）の作成にあたって

1 廃棄物の区分

本書で使用する廃棄物の区分については、以下のとおりとなっています。



2 数値の取扱い等

本書で使用する数値については、本文中に特に記載のない限り、以下のとおりとなっています。

(1) 一般廃棄物

一般廃棄物に関する数値は、令和元(2019)年度に環境省が全国の市町村を対象に実施した「一般廃棄物処理事業実態調査」に基づくものです。

なお、排出事業者が処分業者に処分を委託している廃棄物の量、資源回収業者に売却している古紙等の量、家電リサイクル法に基づき小売店が回収している使用済家電製品の量、スーパー等の店頭で回収されているペットボトル、食品用トレイ等の量等、市町村が把握していない数値については、上記実態調査の結果には含まれていません。

(2) 産業廃棄物

産業廃棄物の排出状況及び処理状況に関する現況値は、令和元(2019)年度に県が排出事業者を対象に実施した実態調査並びに多量排出事業者から県及び宇都宮市に提出された実施状況報告書に基づく推計値です。また、産業廃棄物処理施設に係る処理状況及び産業廃棄物の広域移動の状況に関する現況値は、令和元(2019)年度に産業廃棄物処理業者から県及び宇都宮市に提出された実績報告書に基づき集計したものです。

なお、農業から排出される家畜ふん尿は農地への還元処理、鉱業から排出される汚泥、鉱さい等は鉱山保安法により採取地に埋め戻す処理が行われており、他の業種の産業廃棄物とは処理体系が異なっていることから、産業廃棄物の排出量から農業及び鉱業に係るものを除く取扱いとしています。

(3) その他

本文中の図及び表で使用している数値については、四捨五入しているため、合計と内訳が一致しないことがあります。

3 一部事務組合の略称名等

(令和2(2020)年4月1日現在)

一部事務組合名	略称名	区分	構成市町
那須地区広域行政事務組合	那須広域	ごみ し尿	大田原市、那須塩原市、那須町
佐野地区衛生施設組合	佐野衛生	し尿	栃木市（旧岩舟町及び旧藤岡町に限る。）、佐野市
芳賀郡中部環境衛生事務組合	芳賀郡中部	ごみ	益子町、茂木町、市貝町、芳賀町
芳賀地区広域行政事務組合	芳賀広域	ごみ し尿	真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町
南那須地区広域行政事務組合	南那須広域	ごみ し尿	那須烏山市、那珂川町
塩谷広域行政組合	塩谷広域	ごみ し尿	矢板市、さくら市、塩谷町、高根沢町
小山広域保健衛生組合	小山広域	ごみ	小山市、下野市、野木町
		し尿	小山市、下野市、上三川町、野木町

(注) 芳賀郡中部は主に収集及び運搬に限る。

第1 一般廃棄物

一般廃棄物の排出量については、都市化の進展や生活様式の多様化、消費者意識の変化などに伴い昭和 60(1985)年代に入ってから平成 2(1990)年度までは、年間約 5%の高率で増加し、その後、平成 14(2002)年度まで年間約 2.5%の微増で推移し、平成 15(2003)年度をピークに近年は減少傾向にある。

これらの一般廃棄物を適正に処理するため、市町及び一部事務組合（以下「市町等」という。）において処理施設を整備し、適正な維持管理に努めている。

ごみ処理については、ごみの発生抑制、再使用による排出抑制が基本であるが、排出された廃棄物については、適正にリサイクル、最終処分することが必要であり、地域住民の理解を得ながら処理施設を確保し、適正な維持管理を徹底するよう市町等に対する助言・指導に努めている。

し尿処理については、公共下水道及び浄化槽等による水洗化が年々進んでおり、水洗化人口は県内総人口の約 94.6%を占めている。また、県内総人口の約 31.0%が浄化槽を利用しており、浄化槽によるし尿の適正処理と生活環境の保全を確保するため、浄化槽管理者等による浄化槽の適正管理の徹底が求められている。

1 ごみ処理の現状

(1) ごみ排出量等の状況（表 1-1~7）

平成 30(2018)年度におけるごみの排出量は約 664 千 t と、前年度と比べ横ばいである。

再生利用率はここ数年微減傾向にあり、最終処分量は前年度に比べ約 2.8%減少した。

平成 30(2018)年度の実績値と栃木県廃棄物処理計画（平成 28(2016)年 3 月策定）における目標値及び定期的な推移確認のための参考値を比較した結果は次のとおりである。

		実績値 (平成 30(2018)年度)	目標値又は参考値 ^{※2,3} (令和 2(2020)年度)	備考
排出量	生活系	486 千 t	461 千 t ^{※3}	—
	事業系	178 千 t	154 千 t ^{※3}	—
1 人 1 日当たりの生活系排出量 ^{※1}		550g	521g ^{※2}	29g の削減が必要
再生利用率(量)		16.0%(106 千 t)	25.0% ^{※3} (154 千 t)	—
最終処分率(量)		8.6%(57 千 t)	8.9%(55 千 t ^{※2})	2 千 t の削減が必要

※1 資源物及び集団回収に係るものを除く

※2 栃木県廃棄物処理計画（平成 28(2016)年 3 月策定）における目標値

※3 環境大臣が定める基本方針に準じた参考値

(2) ごみ処理施設の状況（表 1-8~10）

令和 2(2020)年 4 月 1 日現在における市町等が設置、運営するごみ処理施設は、次のとおりである。

	焼却施設	粗大ごみ処理施設	資源化等を行う施設	最終処分場
施設数	15	12	21	8
処理能力	2,509t/日	244t/日	454t/日	261,313 m ³

(注) 最終処分場の処理能力は、平成 30(2018)年度末現在の埋立残余容量。

(3) ごみ処理費用の状況（表 1-1）

平成 30(2018)年度における市町等のごみ処理に係る歳出は、建設・改良費が約 25,712 百万円、処理・維持管理費等が約 20,754 百万円であった。

建設・改良費を除いた一人当たりのごみ処理費用は、10,478 円であった。

表1-1 ごみ排出量と処理費用の推移

年度	排出量(t)						人口(人)	市町等ごみ関係歳出(百万円)		
	前年比(%)	生活系(t)		事業系(t)		一人当たりの処理費用(円/年・人)		建設・改良費を除いた額		
		前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)						
24(2012)	99	516,146	98	175,383	101	2,018,211	23,533	11,660	9,252	
25(2013)	100	512,992	99	177,106	101	2,011,431	26,541	13,195	9,327	
26(2014)	99	501,038	98	179,025	101	2,006,420	22,258	11,093	9,744	
27(2015)	100	503,424	100	175,974	98	1,999,544	30,580	15,293	10,136	
28(2016)	98	489,974	97	176,614	100	1,991,573	25,878	12,994	10,335	
29(2017)	100	490,017	100	177,964	101	1,986,652	24,414	12,289	10,228	
30(2018)	99	485,571	99	178,190	100	1,980,745	46,466	23,459	10,478	

(注) 1 生活系には集団回収量を含む。

2 人口は各年度10月1日現在で記載(出典:環境省一般廃棄物処理実態調査)。

表1-2 再生利用・最終処分の推移

(単位: t)

年度	24(2012)	25(2013)	26(2014)	27(2015)	28(2016)	29(2017)	30(2018)
排出量	691,529	690,098	680,063	679,398	666,562	667,980	663,761
直接資源化量	33,171	31,820	30,989	28,942	28,711	29,415	26,942
中間処理後再生利用量	56,984	60,655	57,622	57,016	55,397	55,820	56,385
集団回収量	28,413	28,118	27,468	27,258	25,906	24,317	22,815
再生利用量(率)	118,568 (17.1%)	120,593 (17.5%)	116,079 (17.1%)	113,216 (16.7%)	110,014 (16.5%)	109,552 (16.4%)	106,142 (16.0%)
最終処分量(率)	68,578 (9.9%)	62,049 (9.0%)	60,816 (8.9%)	64,143 (9.4%)	59,582 (8.9%)	58,574 (8.8%)	56,957 (8.6%)

(注) 再生利用率については本県独自の算出方法によるものであるため、環境省が公表している数値と異なる場合がある。

図1-1 ごみ処理のフロー(平成30(2018)年度)

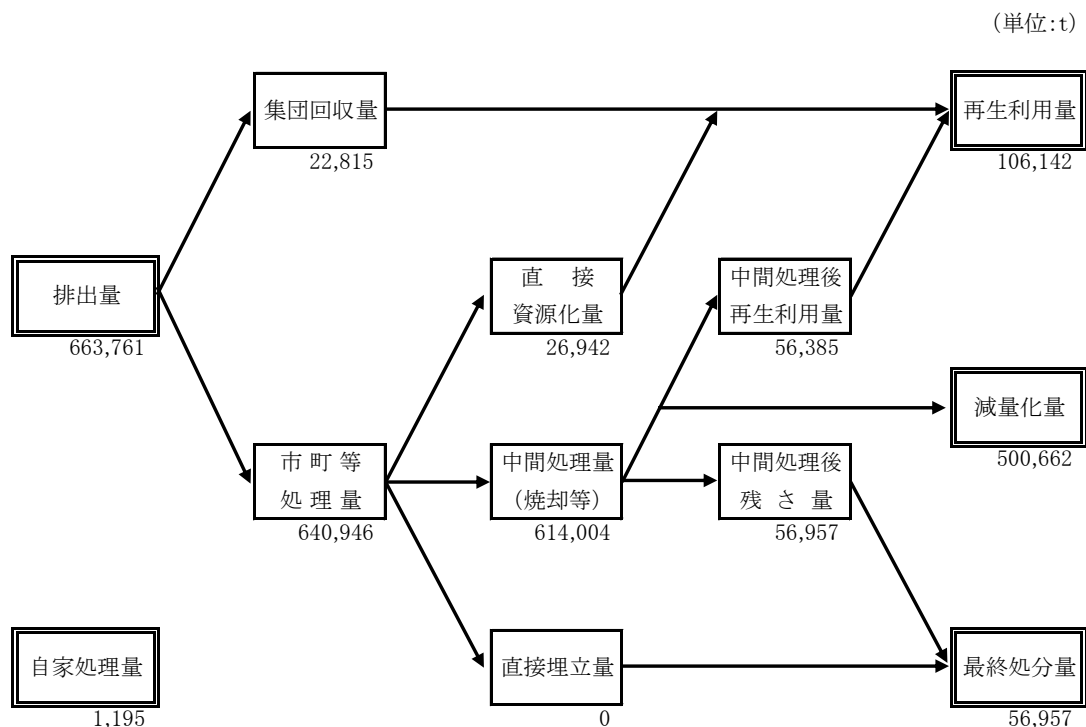


表1-3 市町別1人1日当たりのごみ排出量・再生利用率・最終処分率(平成30(2018)年度)

市町名	1人1日当たりのごみ排出量(g)				再生利用率(%)		最終処分率(%)	
	生活系+事業系 順位 (前年度)	生活系 順位 (前年度)	生活系(資源物及び び集団回収に係る ものを除く。) 順位 (前年度)	生活系(資源物及び び集団回収に係る ものを除く。) 順位 (前年度)	再生利用率 (%) 順位 (前年度)	最終処分率 (%) 順位 (前年度)		
宇都宮市	935 (20位)	706 (21位)	554 (15位)	554 (14位)	15.2 (18位)	11.7 (24位)		
足利市	1,078 (23位)	736 (22位)	607 (23位)	607 (24位)	12.9 (20位)	11.3 (23位)		
栃木市	925 (19位)	665 (15位)	563 (18位)	563 (16位)	17.0 (12位)	5.9 (9位)		
佐野市	897 (14位)	626 (11位)	545 (12位)	545 (12位)	12.8 (22位)	6.3 (11位)		
鹿沼市	866 (12位)	685 (16位)	569 (17位)	569 (19位)	15.5 (16位)	12.7 (25位)		
日光市	1,144 (25位)	704 (19位)	565 (25位)	565 (17位)	16.8 (13位)	2.1 (8位)		
小山市	922 (18位)	688 (17位)	572 (19位)	572 (20位)	20.5 (8位)	4.1 (7位)		
真岡市	749 (7位)	584 (8位)	509 (10位)	509 (10位)	16.0 (15位)	4.6 (8位)		
大田原市	880 (13位)	675 (14位)	584 (21位)	584 (22位)	9.7 (25位)	11.2 (22位)		
矢板市	844 (10位)	600 (9位)	548 (13位)	548 (13位)	12.8 (22位)	8.0 (14位)		
那須塩原市	996 (22位)	641 (12位)	537 (11位)	537 (11位)	11.1 (24位)	9.6 (19位)		
さくら市	913 (16位)	603 (10位)	565 (16位)	565 (17位)	22.9 (6位)	7.0 (12位)		
那須烏山市	916 (14位)	744 (20位)	587 (14位)	587 (23位)	20.3 (9位)	8.2 (15位)		
下野市	749 (7位)	653 (13位)	506 (9位)	506 (9位)	22.9 (4位)	6.2 (10位)		
上三川町	912 (15位)	733 (23位)	580 (22位)	580 (21位)	18.4 (9位)	10.3 (20位)		
益子町	665 (4位)	531 (6位)	372 (2位)	372 (2位)	30.7 (3位)	3.6 (3位)		
茂木町	649 (4位)	505 (3位)	377 (3位)	377 (3位)	34.1 (1位)	3.4 (2位)		
市貝町	565 (1位)	485 (1位)	387 (4位)	387 (4位)	23.0 (5位)	4.0 (6位)		
芳賀町	638 (2位)	503 (2位)	352 (1位)	352 (1位)	31.4 (2位)	3.6 (3位)		
壬生町	936 (21位)	769 (24位)	642 (25位)	642 (24位)	16.5 (14位)	8.5 (18位)		
野木町	863 (11位)	713 (19位)	501 (8位)	501 (8位)	23.7 (4位)	3.6 (3位)		
塩谷町	642 (3位)	542 (7位)	476 (6位)	476 (7位)	18.0 (11位)	8.3 (16位)		
高根沢町	667 (5位)	525 (4位)	485 (6位)	485 (7位)	15.3 (17位)	7.8 (13位)		
那須町	1,151 (25位)	523 (4位)	402 (5位)	402 (5位)	13.8 (19位)	11.0 (21位)		
那珂川町	818 (9位)	699 (18位)	559 (15位)	559 (15位)	12.9 (20位)	8.4 (17位)		
栃木県	918 (19位)	672 (35位)	550 (34位)	550 (34位)	16.0 (32位)	8.6 (19位)		
全国平均	918	638	503	503	20.0	9.0		

(注) 1 1人1日当たりのごみ排出量:排出量÷人口÷365日

2 網掛けはごみ(生活系可燃ごみ)処理の有料化を実施している市町(平成30(2018)年4月現在)

表1-4 市町別ごみの排出状況(平成30(2018)年度)

(単位:t/年)

市町 事務組合	人口 (人)	生活系										事業系							排出量
		市町等処理量					計	集団回収量					計	市町等処理量					
		可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	その他		可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	その他		計	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	
宇都宮市	523,034	101,380	2,981	21,219	1,322	1	126,903	7,837	134,740	42,573	172	864	5	153	43,767	178,507			
足利市	149,021	31,501	1,363	3,893	39	96	36,892	3,151	40,043	18,073	538	0	0	0	18,611	58,654			
栃木市	161,604	30,684	2,408	4,602	94	0	37,788	1,421	39,209	14,063	507	26	0	747	15,343	54,552			
佐野市	119,086	21,857	731	1,851	1,089	25	25,553	1,674	27,227	11,569	34	34	0	104	11,741	38,968			
鹿沼市	97,976	18,534	771	2,776	951	93	23,125	1,377	24,502	6,097	61	232	0	79	6,469	30,971			
日光市	82,839	16,007	785	3,731	281	0	20,804	483	21,287	12,685	232	397	0	0	13,314	34,601			
那須塩原市	117,726	21,628	631	3,597	830	0	26,686	847	27,533	14,206	145	582	0	332	15,265	42,798			
上三川町	31,266	6,369	173	1,090	66	14	7,712	657	8,369	2,013	18	4	0	5	2,040	10,409			
壬生町	39,565	8,200	1,077	1,185	0	0	10,462	636	11,098	2,319	89	14	0	0	2,422	13,520			
那須広域	99,356	18,126	693	3,106	658	31	22,614	460	23,074	10,623	176	342	6	194	11,341	34,415			
大田原市	74,019	14,708	509	1,995	539	31	17,782	460	18,242	5,175	112	109	6	131	5,533	23,775			
那須町	25,337	3,418	184	1,111	119	0	4,832	0	4,832	5,448	64	233	0	63	5,808	10,640			
芳賀広域	144,705	20,940	1,093	3,957	1,620	8	27,618	1,509	29,127	7,246	5	495	0	55	7,801	36,928			
真岡市	80,808	13,336	617	2,220	1,049	8	17,230	0	17,230	4,835	1	1	0	19	4,856	22,086			
益子町	23,249	2,767	163	617	228	0	3,775	730	4,505	1,018	2	105	0	15	1,140	5,645			
茂木町	13,109	1,587	121	466	96	0	2,270	145	2,415	384	1	297	0	6	688	3,103			
市貝町	11,800	1,487	79	267	101	0	1,934	156	2,090	330	1	3	0	8	342	2,432			
芳賀町	15,739	1,763	113	387	146	0	2,409	478	2,887	679	0	89	0	7	775	3,662			
南那須広域	43,469	8,307	438	1,565	379	18	10,707	830	11,537	2,234	16	114	0	33	2,397	13,934			
那須烏山市	26,767	5,196	280	710	245	12	6,443	830	7,273	1,533	12	101	0	28	1,674	8,947			
那珂川町	16,702	3,111	158	855	134	6	4,264	0	4,264	701	4	13	0	5	723	4,987			
塩谷広域	118,231	20,230	1,914	1,792	783	0	24,719	162	24,881	7,360	215	2,156	0	158	9,889	34,770			
矢板市	32,812	5,791	580	535	189	0	7,095	91	7,186	2,763	90	11	0	56	2,920	10,106			
さくら市	44,258	8,116	656	569	350	0	9,691	49	9,740	2,937	63	1,947	0	54	5,001	14,741			
塩谷町	11,367	1,706	218	261	49	0	2,234	15	2,249	372	21	2	0	21	416	2,665			
高根沢町	29,794	4,617	460	427	195	0	5,699	7	5,706	1,288	41	196	0	27	1,552	7,258			
小山広域	252,867	44,171	5,824	10,500	619	59	61,173	1,771	62,944	16,439	810	490	0	51	17,790	80,734			
小山市	167,274	30,087	4,350	6,009	436	35	40,917	1,057	41,974	13,295	674	285	0	35	14,289	56,263			
下野市	59,981	10,092	823	2,677	147	21	13,760	546	14,306	1,997	73	19	0	7	2,096	16,402			
野木町	25,612	3,992	651	1,814	36	3	6,496	168	6,664	1,147	63	186	0	9	1,405	8,069			
合計	1,980,745	367,934	20,882	64,864	8,731	345	462,756	22,815	485,571	167,500	3,018	5,750	11	1,911	178,190	663,761			
割合(%)		55.4%	3.1%	9.8%	1.3%	0.1%	69.7%	3.4%	73.2%	25.2%	0.5%	0.9%	0.0%	0.3%	26.8%	100.0%			

(注) 下野市の数値には、宇都宮市にごみ処理を委託している旧石橋町区域分を含む。

表1-5 市町別ごみの収集状況(平成30(2018)年度)

(単位:t/年)

市町 事務組合	生活系						事業系						収集運搬業者	
	収集			計	直接搬入	計	収集			直接搬入	計	委託業者 (件)	許可件数 (件)	
	直営	委託	許可				直営	委託	許可					
宇都宮市	980	115,746	0	10,177	126,903	0	37,536	0	6,231	43,767	14	174		
足利市	66	36,826	0	0	36,892	0	14,684	0	3,927	18,611	4	18		
栃木市	880	36,904	0	4	37,788	0	11,304	0	4,039	15,343	9	75		
佐野市	3,686	19,747	0	2,120	25,553	0	10,725	0	1,016	11,741	4	32		
鹿沼市	0	20,635	0	2,490	23,125	0	4,588	0	1,881	6,469	3	28		
日光市	68	20,141	0	595	20,804	0	10,343	0	2,971	13,314	55	43		
那須塩原市	229	24,122	0	2,335	26,686	0	12,936	0	2,329	15,265	7	36		
上三川町	541	6,325	0	846	7,712	0	1,593	0	447	2,040	7	42		
壬生町	0	10,106	0	356	10,462	0	1,669	0	753	2,422	2	43		
那須広域	3,262	17,138	0	2,214	22,614	0	10,013	0	1,328	11,341				
大田原市	25	16,200	0	1,557	17,782	0	4,505	0	1,028	5,533	3	24		
那須町	3,237	938	0	657	4,832	0	5,508	0	300	5,808	4	11		
芳賀広域	106	25,516	0	1,996	27,618	0	6,497	129	1,175	7,801	4			
真岡市	0	16,587	0	643	17,230	0	4,606	0	250	4,856				
益子町	0	3,162	0	613	3,775	0	730	43	367	1,140	3	10		
茂木町	0	2,088	0	182	2,270	0	302	0	386	688	2	11		
市貝町	106	1,568	0	260	1,934	0	304	0	38	342	0	12		
芳賀町	0	2,111	0	298	2,409	0	555	86	134	775	3	23		
南那須広域	5	9,832	0	870	10,707	0	1,969	0	428	2,397				
那須烏山市	5	5,896	0	542	6,443	0	1,246	0	428	1,674	4	13		
那珂川町	0	3,936	0	328	4,264	0	723	0	0	723	1	5		
塩谷広域	2,409	20,505	0	1,805	24,719	0	8,893	0	996	9,889				
矢板市	0	6,608	0	487	7,095	0	2,613	0	307	2,920	6	16		
さくら市	280	8,582	0	829	9,691	0	4,532	0	469	5,001	4	19		
塩谷町	2,129	0	0	105	2,234	0	357	0	59	416	0	5		
高根沢町	0	5,315	0	384	5,699	0	1,391	0	161	1,552	2	12		
小山広域	0	51,428	0	9,745	61,173	1,266	16,330	0	194	17,790				
小山市	0	33,095	0	7,822	40,917	1,116	13,173	0	0	14,289	4	78		
下野市	0	12,645	0	1,115	13,760	26	1,876	0	194	2,096	5	64		
野木町	0	5,688	0	808	6,496	124	1,281	0	0	1,405	2	25		
合計	12,232	414,971	0	35,553	462,756	1,266	149,080	129	27,715	178,190	152	848		

(注) 下野市の数値には、宇都宮市にごみ処理を委託している旧石橋町区域分を含む。

表1-6 市町別ごみの処理状況(平成30(2018)年度)

(単位:t/年)

市町 事務組合	焼却			焼却以外の中間処理			最終処分					
	市町等 処理量	直接焼却	焼却以外の施 設からの搬入	計	粗大ごみ処理 施設	その他の資源 化施設等	その他	計	直接埋立	焼却残さ	焼却以外の施 設からの搬入	計
宇都宮市	171,408	143,685	3,684	147,369	1,256	25,892	2	27,150	0	15,314	5,541	20,855
足利市	55,531	49,574	115	49,689	1,996	1,921	0	3,917	0	5,866	771	6,637
栃木市	53,150	44,748	2,130	46,878	0	6,154	0	6,154	0	2,210	1,022	3,232
佐野市	37,144	33,429	1,002	34,431	1,876	908	0	2,784	0	2,267	193	2,460
鹿沼市	30,027	24,695	1,138	25,833	2,885	727	0	3,612	0	3,167	760	3,927
日光市	34,153	28,692	98	28,790	3,030	0	0	3,030	0	736	0	736
那須塩原市	42,055	36,782	0	36,782	987	1,945	225	3,157	0	3,188	935	4,123
上三川町	9,852	8,332	151	8,483	60	955	0	1,015	0	886	182	1,068
壬生町	12,807	9,878	504	10,382	1,241	428	0	1,669	0	906	243	1,149
那須広域	33,300	28,847	1,089	29,936	0	2,098	0	2,098	0	3,779	41	3,820
大田原市	22,660	19,981	798	20,779	0	1,538	0	1,538	0	2,622	30	2,652
那須町	10,640	8,866	291	9,157	0	560	0	560	0	1,157	11	1,168
芳賀広域	36,966	29,741	2,126	31,867	0	3,343	901	4,244	0	1,542	0	1,542
真岡市	23,622	19,726	1,292	21,018	0	1,968	0	1,968	0	1,006	0	1,006
益子町	4,913	3,785	313	4,098	0	487	383	870	0	202	0	202
茂木町	2,957	1,971	172	2,143	0	272	412	684	0	106	0	106
市貝町	2,278	1,817	145	1,962	0	234	0	234	0	97	0	97
芳賀町	3,196	2,442	204	2,646	0	382	106	488	0	131	0	131
南那須広域	13,573	10,541	184	10,725	775	644	224	1,643	0	986	168	1,154
那須烏山市	7,948	6,729	182	6,911	474	0	0	474	0	623	110	733
那珂川町	5,625	3,812	2	3,814	301	644	224	1,169	0	363	58	421
塩谷広域	34,607	27,590	717	28,307	3,070	241	1,343	4,654	0	2,108	526	2,634
矢板市	10,015	8,554	222	8,776	915	46	0	961	0	653	158	811
さくら市	14,691	11,053	287	11,340	1,123	100	1,299	2,522	0	843	195	1,038
塩谷町	2,650	2,078	57	2,135	309	32	0	341	0	169	52	221
高根沢町	7,251	5,905	151	6,056	723	63	44	830	0	443	121	564
小山広域	80,652	60,765	3,954	64,719	10,252	4,875	730	15,857	0	2,317	1,303	3,620
小山市	56,927	43,512	2,732	46,244	8,059	2,726	0	10,785	0	1,389	921	2,310
下野市	15,806	12,097	623	12,720	1,256	1,574	0	2,830	0	763	256	1,019
野木町	7,919	5,156	599	5,755	937	575	730	2,242	0	165	126	291
合計	645,225	537,299	16,892	554,191	27,428	50,131	3,425	80,984	0	45,272	11,685	56,957

(注) 下野市の数値には、宇都宮市にごみ処理を委託している旧石橋町区域分を含む。

表1-7 市町別再生利用の状況(平成30(2018)年度)

市町	紙類(紙ハック、紙製容器包装を除く。)	紙ハック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	ペットボトル	白色トレイ	容器包装プラスチック類(白色トレイを除く。)	プラスチック類(白色トレイ、容器包装プラスチックを除く。)	布類	肥料	溶融スラグ	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	合計	左記の内訳		
																	直接資源化	中間処理後再生利用	集団回収
宇都宮市	15,485	118	0	3,728	1,255	1,161	4	2,175	0	1,536	0	918	0	32	651	27,063	573	18,653	7,837
足利市	4,893	4	0	1,101	938	327	0	0	0	205	0	0	0	15	77	7,560	2,040	2,369	3,151
栃木市	3,763	17	0	1,618	1,124	523	15	0	0	0	0	2,183	0	4	0	9,247	2,248	5,578	1,421
佐野市	2,386	4	0	753	581	186	1	0	0	127	0	738	0	2	209	4,987	931	2,382	1,674
鹿沼市	2,476	8	88	730	316	227	0	479	0	157	0	0	0	0	330	4,811	1,720	1,714	1,377
日光市	2,681	4	0	555	817	308	0	0	0	3	0	1,448	0	0	1	5,817	2,431	2,903	483
小山市	2,730	11	0	1,316	634	474	0	1,310	0	534	0	3,352	0	0	1,191	11,552	2,630	7,865	1,057
真岡市	1,356	7	0	671	377	111	0	0	0	180	0	826	0	0	8	3,536	1,928	1,608	0
大田原市	1,525	2	0	438	74	206	0	0	0	2	0	0	0	0	64	2,311	1,141	710	460
矢板市	565	0	0	185	266	51	0	0	0	0	0	54	154	1	15	1,291	500	700	91
那須塩原市	2,866	8	0	947	493	211	9	0	0	0	225	0	0	4	0	4,763	2,116	1,800	847
さくら市	1,075	3	4	260	338	115	1	6	12	0	1,299	69	199	0	0	3,381	1,116	2,216	49
那須烏山市	741	1	305	287	220	99	0	0	0	140	0	0	0	0	25	1,818	745	243	830
下野市	875	5	138	470	231	336	0	538	0	294	0	575	0	0	292	3,754	879	2,329	546
上三川町	1,036	2	0	274	115	62	2	205	0	99	0	53	0	0	63	1,911	505	749	657
益子町	734	0	0	219	143	59	0	0	0	25	381	159	0	2	12	1,734	258	746	730
茂木町	320	0	0	106	95	24	0	0	0	17	412	83	0	0	0	1,057	302	610	145
市貝町	294	0	0	87	64	25	0	0	0	14	0	76	0	0	0	560	227	177	156
芳賀町	535	0	20	168	96	43	0	61	0	19	106	102	0	0	0	1,150	266	406	478
壬生町	1,090	5	27	375	248	178	7	2	0	204	0	0	0	0	88	2,224	1,260	328	636
野木町	536	0	0	179	88	67	0	102	0	73	9	397	0	6	454	1,911	521	1,222	168
塩谷町	242	0	0	63	89	32	0	0	0	0	0	14	40	0	0	480	231	234	15
高根沢町	514	0	0	143	205	44	0	13	0	1	38	36	104	6	7	1,111	516	588	7
那須町	685	7	0	167	409	58	1	74	0	0	0	0	0	0	68	1,469	1,214	255	0
那珂川町	300	1	0	42	162	43	0	0	0	96	0	0	0	0	0	644	644	0	0
合計	49,703	207	582	14,882	9,378	4,970	40	4,965	12	3,726	2,470	11,083	497	72	3,555	106,142	26,942	56,385	22,815

(注) 1 直接資源化:再生業者等に直接搬入されたもの

2 集団回収:市民団体等による回収で市町が関与しているもの

表1-8 焼却施設の状態(市町等)

稼働中の施設

(令和2(2020)年4月1日現在)

市町 事務組合	構成市町名	施設名	施設の所在地	処理能力 (t/日)	処理 方式	燃焼 方式	排ガス 処理 施設	建設年度 (年)	使用開始 年月	処理実績(30(2018)年度)				発電能力 (kW)	備考	
										年間 処理量 (t/年)	資源 回収量 (t/年)	総発電量 (MWh/年)	売電量 (MWh/年)			余熱利用 の状況
宇都宮市	南清掃センター	宇都宮市屋根330	宇都宮市下田原3435	280 (140×2)	全連続	ストカ	BF	S60~62 (1985~1987)	S62(1987).12	49,133	-	-	-	-	R2(2020)年3月31日稼働停止	
		クリーンセンター下田原	宇都宮市下田原3435	190 (95×2)	全連続	ストカ	BF	H29~R2 (2017~2020)	R2(2020).4	-	-	-	3,500	R2(2020)年4月1日稼働		
足利市	南部クリーンセンター	クリーンパーク茂原	宇都宮市茂原町777-1	390 (130×3)	全連続	ストカ	BF	H9~12 (1997~2000)	H13(2001).3	108,206	1,315	49,567	26,225	場内・外温 水、発電		
		足利市野田町826-1	足利市野田町826-1	300 (100×3)	全連続	ストカ	BF	S55~57 (1980~1982)	S58(1983).6	49,612	-	-	-	-	場内・外温 水、場内蒸気	
栃木市	葛生清掃センター	とちぎクリーンプラザごみ焼却施設	栃木市桜町456-32	237 (118.5×2)	全連続	ストカ	BF	H12~14 (2000~2002)	H15(2003).4	46,550	2,577	15,679	2,327	場内温水、発 電		
		佐野市あくど町3360	佐野市あくど町3360	80 (39.75×2)	全連続	ストカ	BF	H4~5 (1992~1993)	H6(1994).4	9,113	-	-	-	-	場内温水	
鹿沼市	那須塩原クリーンセンター	みかもクリーンセンター	佐野市町谷町206-13	128 (64×2)	全連続	流動床	BF	H16~18 (2004~2006)	H19(2007).3	25,319	-	8,388	830	場内・外温 水、発電		
		那須塩原クリーンセンター	鹿沼市上殿町673-1	177 (88.5×2)	全連続	ストカ	BF	H4~6 (1999~1994)	H6(1994).12	24,695	1	1	-	-	場内温水、発 電	
壬生町	那須塩原クリーンセンター	日光市クリーンセンター	日光市千本木945-1	135 (67.5×2)	全連続	シヤブト	BF	H20~22 (2008~2010)	H23(2010).7	29,890	1,415	9,170	620	発電		
		那須塩原クリーンセンター	那須塩原市薬沼593	140 (70×2)	全連続	ストカ	BF	H18~21 (2006~2009)	H21(2009).6	36,782	76	13,895	2,852	発電		
那須広域	大田原市 那須町	壬生町清掃センター焼却施設	壬生町大字羽生田1350-3	70 (35×2)	准連続	流動床	BF	H9~10 (1997~1998)	H11(1999).3	10,382	-	-	-	-	場内・外温 水	
		広域クリーンセンター大田原	大田原市若草1-1484-2	120 (60×2)	全連続	ストカ	BF	H12~14 (2000~2002)	H15(2003).3	29,936	-	-	-	-	場内温水	
芳賀広域	真岡市 益子町 茂木町 市貝町 芳賀町	芳賀地区エコステーション	真岡市堀内1839	143 (71.5×2)	全連続	流動床	BF	H23~25 (2011~2013)	H26(2014).4	31,868	1,450	11,690	3,746	発電		
		保健衛生センター	那須烏山市大桶444	55 (27.5×2)	准連続	流動床	BF	S63~H元 (1988~1989)	H2(1990).4	11,213	-	-	-	-	なし	
塩谷広域	矢板市 さくら市 塩谷町 高根家町	塩谷広域環境衛生センター	さくら市松島823	120 (60×2)	全連続	ストカ	BF	S63~H元 (1988~1989)	H2(1990).4	27,590	-	-	-	-	なし	R2(2019)年6月30日稼働停止
		エコパークおや	矢板市安沢3640	114 (57×2)	全連続	ストカ	BF	H28~R元 (2016~2019)	R2(2019).7	-	-	-	-	-	発電	1,530 (R元(2019)年7月1日稼働)
小山広域	小山市 下野市(四石 橋町を除く) 野木町	中央清掃センター	小山市塩沢576-15	160 (80×2)	全連続	ストカ	EP	S58~60 (1983~1985)	S61(1986).4	39,255	2,642	-	-	なし		
		15施設		70 (70×1)	全連続	ストカ	BF	H25~H28 (2013~2016)	H28(2016).10	19,970	1,650	7,701	2,411	発電、場内温 水	1,300	
合計				2,509					549,513	11,126	116,091	39,011		24,440		

(注) 1 全連続=全連続炉(24時間運転)、准連続=准連続炉(16時間運転)
2 BF=バクフイルター、EP=電気集じん機

表1-9 粗大ごみ処理施設、資源化施設等の状況(市町等)

1 粗大ごみ処理施設(粗大ごみを対象に破碎、圧縮等の処理及び有価物の選別を行う施設)

市町 事務組合	構成市町名	施設名	施設の所在地	処理方式 (破碎・圧縮・併用)	処理能力 (t/日)	建設年度	使用開始 年月	処理実績(30(2018)年度)		備考
								年間処理量 (t/年)	資源回収量 (t/年)	
宇都宮市	さくら市 塩谷町 高根沢町	グリーンパーク茂原リサイクルプラザ	宇都宮市茂原町777-1	破碎	10	H9~12 (1997~2000)	H13(2001).3	1,596	722	
		南部クリーンセンター粗大ごみ処理施設	足利市野田町826-1	破碎	40	S56~57 (1981~1982)	S58(1983).7	1,496	1,110	
栃木市	佐野市	とちぎクリーンプラザリサイクルプラザ	栃木市梓町456-32	併用	28.6	H12~14 (2000~2002)	H15(2003).4	3,828	918	
		葛生清掃センター	佐野市あくと町3360	併用	10	H4~5 (1992~1993)	H6(1994).4	537	274	
鹿沼市	日光市	みかもクリーンセンターリサイクルプラザ	佐野市町谷町206-13	併用	10.4	H16~17 (2004~2005)	H18(2006).3	1,420	465	
		環境クリーンセンター粗大ごみ処理施設	鹿沼市上殿町673-1	併用	30	H3~6 (1991~1994)	H6(1994).10	2,885	1,008	
那須塩原市	那須塩原市	日光市リサイクルセンター(粗大ごみ処理施設)	日光市町谷809-2	併用	30	H6~8 (1994~1996)	H8(1996).4	1,298	248	H29(2017).1一部稼働停止
		那須塩原クリーンセンター	那須塩原市藁沼593	破碎	7.2	H18~21 (2006~2009)	H21(2009).6	987	345	
南那須広域	那須塩原市 那須町	広域クリーンセンター大田原	大田原市若草1-1484-2	破碎	6.2	H13~14 (2001~2002)	H15(2003).4	854	440	
		保健衛生センター	那須烏山市大桶444	併用	20	S63 (1988)	H2(1990).4	947	357	
塩谷広域	矢板市 さくら市 塩谷町 高根沢町	塩谷広域環境衛生センター	さくら市松島823	併用	30	H3~5 (1993~1995)	H5(1993).11	3,071	1,809	R元(2019).6.30稼働停止
		エコパークしおや	矢板市安沢3640	破碎	12	H28~R元 (2016~2019)	R元(2019).7	-	-	-R元(2019).7.1稼働
小山広域	小山市 下野市(旧石 幡町を除く) 野木町	中央清掃センター粗大ごみ処理施設	小山市大字塩沢576-15	併用	85	H6~8 (1994~1996)	H8(1996).10	8,852	3,189	H31(2019).3.31稼働停止
		リサイクルセンター	下野市下坪山1632	併用	40	H29~30 (2017~2018)	H31(2019).4	54	24	H31.2~3月試運転分
合計		12施設			244			27,825	10,909	

(注)1 令和2(2020)年4月1日現在では稼働停止しているが、平成30(2018)年度中に稼働していた施設も含む。

2 破碎=可燃性粗大ごみの破碎施設、圧縮=不燃性粗大ごみの破碎・圧縮施設、併用=可燃性及び不燃性粗大ごみの破碎施設

(令和2(2020)年4月1日現在)

2 資源化等を行う施設(選別・圧縮・梱包等の施設、高速堆肥化施設)

市町 事務組合	構成市町名	施設名	施設の所在地	処理内容	処理能力 (t/日)	建設年度	使用開始 年月	処理実績(30(2018)年度) 年間処理量 (t/年)	資源回収量 (t/年)	備考
宇都宮市		グリーンパーク茂原リサイクルプラザ	宇都宮市茂原777-1	選別・圧縮・梱包	125 (1997～2000)	H9～12 (1997～2000)	H13(2001).3	12,733	6,281	
		エコプラセンター下荒針	宇都宮市下荒針町2678-176	選別・圧縮・梱包	36	H20～22 (2008～2010)	H22(2010).3	3,555	2,922	
足利市		南部クリーンセンターリサイクルセンター	足利市野田町826-1	選別・圧縮・梱包	2	H8 (1996)	H8(1996).10	4,380	3,270	
		とちぎリーンプラザリサイクルセンター	栃木市梓町456-32	選別・圧縮・梱包	20 H12～14 (2000～2002)	H2 (1990)	H3(1991).4	1,623	1,406	
栃木市		とちぎリーンプラザリサイクルセンター	栃木市梓町456-32	選別・圧縮・梱包	30	H11 (1999)	H15(2003).4	630	537	
		衛生清掃センター	佐野市あくど町3360	選別・圧縮・梱包	1.5	H16～17 (2004～2005)	H12(2000).4	356	295	
佐野市		みかもリーンセンターリサイクルプラザ	佐野市谷町206-13	選別・圧縮・梱包	5.3	H13 (2001)	H18(2006).3	624	556	
		リサイクルセンター	鹿沼市上殿町698	圧縮・梱包	5	H23 (2011)	H14(2002).4	500	479	
鹿沼市		新リサイクルセンター	鹿沼市上殿町697	圧縮・梱包	5	H23 (2011)	H24(2012).4	225	227	
		日光市リサイクルセンター	日光市町谷809-2	選別・圧縮・梱包	10	H24～25 (2012～2013)	H26(2014).4	4,129	3,611	
真岡市		真岡市リサイクルセンター	真岡市阿部岡365-4	堆肥化	4.6	H29～30 (2017～2018)	H31(2019).4	—	—	H31(2019).4.1稼働
		那須塩原クリーンセンター	那須塩原市藤沼593	選別・圧縮・梱包・その他	13.2	H18～20 (2006～2008)	H21(2009).7	2,078	1,168	
那須塩原市		塩原堆肥センター	那須塩原市関合1590-6	堆肥化	94.8	H15～17 (2003～2005)	H18(2006).6	11,120	244	
		美土里館	茂木町九石641-1	堆肥化	18	H19～14 (2001～2002)	H15(2003).4	4,757	4,757	
高根沢町		土づくりセンター	高根沢町大字平田1525-1	堆肥化	24 (1998～1999)	H10～11 (1998～1999)	H12(2000).4	38	38	H30(2018)5 稼働休止
		広域クリーンセンター大田原	大田原市若草1-1484-2	選別・圧縮・梱包	14	H13～14 (2001～2002)	H15(2003).4	1,500	773	
芳賀広域	真岡市 益子町 茂木町 市貝町 芳賀町	芳賀地区エコステーション	真岡市堀内1839	選別・圧縮・梱包	19	H23～25 (2011～2013)	H26(2014).4	4,085	1,923	
		保健衛生センター	那須烏山市大桶444	圧縮・梱包	1	H9 (1997)	H9(1997).10	114	100	
塩谷広域	矢板市 さくら市 塩谷町 高根沢町	塩谷広域環境衛生センター	さくら市松島823	圧縮・梱包	0.25	H6 (1994)	H7(1995).4	202	202	R元(2019).6.30稼働休止
		エコパークしおや	矢板市安沢3640	圧縮・梱包	2	H28～R元 (2016～2019)	R元(2019).7	—	—	R元(2019).7.1稼働
小山広域	小山市 下野市 野木町	リサイクルセンター	下野市下坪山1632	選別・圧縮・梱包	13.3 (2017～2018)	H29～30 (2017～2018)	H31(2019).4	37	31	H31.2～3月試運転分
		南部清掃センター寄り法対象ビニプラ施設	野木町南赤塚1513-2	選別・圧縮・梱包・その他	30.4 (2014～2015)	H26～27 (2014～2015)	H28(2016).4	4,110	3,283	
合計		南部清掃センター生ごみ等リサイクル施設		堆肥化	4.1 (2014～2015)	H26～27 (2014～2015)	H28(2016).4	730	9	
		21施設			454			57,526	32,112	

(令和2(2020)年4月1日現在)

3 その他の施設(中継施設)

市町 事務組合	構成市町名	施設名	施設の所在地	処理内容	処理能力 (t/日)	建設年度	使用開始 年月	処理実績(30(2018)年度) 年間積蓄量(t/年)	備考
那須町		クリーンステーション那須(中継施設)	那須町大字富岡736-1	積替え	58	H14 (2002)	H14(2002).12	8,866	
合計		1施設			58			8,866	

表1-10 最終処分場の状況(市町等)

(令和2(2020)年4月1日現在)

市町 事務組合	構成市町名	施設名	施設の所在地	施設概要		埋立地 面積 (m ²)	全体 容量 (m ³)	処理実績(30(2018)年度)		建設 年度	埋立 開始 年月	備考
				遮水工	浸出水処理方式			埋立 実績 (m ³ /年)	残余容量 (m ³)			
宇都宮市	宇都宮市	エコパーク板戸	宇都宮市板戸町3625-1	ベント小湿土+保護マット+遮水シート+中層マット+自己修復材+遮水シート+保護マット	凝集沈殿・生物処理(脱窒あり)、消毒、活性炭処理、膜処理、キレート処理	33,000	355,000	23,805	43,512	H14~16 (2002~2004)	H16(2004).11	
足利市	足利市	小俣処分場	足利市小俣町3006-1	保護マット+ポリシート+不織布+ゴミシート+保護マット	凝集沈殿・生物処理(脱窒あり)、砂ろ過、消毒、活性炭処理、キレート処理	22,800	253,000	901	111,937	H9~10 (1997~1998)	H11(1999).9	
鹿沼市	鹿沼市	鹿沼フェニックス	鹿沼市磯町157-14	不織布+ゴミシート+不織布	凝集沈殿・生物処理(脱窒なし)、砂ろ過、消毒、活性炭処理	27,000	112,000	3,355	22,102	H3~4 (1991~1992)	H5(1993).4	
日光市	日光市	日光市一般廃棄物最終処分場	日光市町谷809-2	不織布+ゴミシート+塩ビシート	凝集沈殿・生物処理(脱窒なし)、消毒	6,680	65,900	0	2,070	H7~2 (1989~1990)	H2(1990).4	
那須塩原市	那須塩原市	一般廃棄物最終処分場	那須塩原市西岩崎331-1	ゴミシート+不織布+粘着層+ゴミシート+不織布	凝集沈殿、砂ろ過、消毒、活性炭処理、キレート処理、下水道放流	16,240	92,704	4,134	11,112	H5~6 (1993~1994)	H7(1995).2	
壬生町	壬生町	環境センター	壬生町大字下福藁2585-1	不織布+遮水シート+不織布	凝集沈殿・生物処理(脱窒あり)、砂ろ過、消毒、活性炭処理、キレート処理	15,600	42,500	1,166	12,414	H6~7 (1994~1995)	H8(1996).3	
芳賀広域	真岡市 益子町 茂木町 市貝町 芳賀町	エコオオレスト	芳賀郡芳賀町給部317-15	コンクリートビッド構造 メタロセン系ポリエチレンシート 底面:二重シート+漏水検知システム	凝集沈殿、砂ろ過+浸透膜 無放流、フローラ型	3,478	26,000	1,374	22,941	H26~28 (2014~2016)	H29(2017).1	
那須広域	大田原市 那須町	黒羽グリーンオアシス	大田原市川田533	不織布+ポリシート+不織布+中間層+不織布+ポリシート+不織布	凝集沈殿・生物処理(脱窒あり)、砂ろ過、消毒、活性炭処理、キレート処理	16,010	173,100	3,729	35,225	H7~8 (1995~1996)	H9(1997).4	
合計		8施設				140,795	1,120,204	38,464	261,313			

(注) 埋立実績には、覆土及び埋立地内の薬場に係る土量分を含む。
(注) 測量調査により正確な残余容量を算出する年度もあるため、(前年度の残余容量と今年度の埋立実績)が今年度の残余容量と一致しない場合もある。

2 埋立処分場が終了した最終処分場(維持管理継続中)

(令和2(2020)年4月1日現在)

市町 事務組合	構成市町名	施設名	施設の所在地	施設概要		埋立地 面積 (m ²)	全体 容量 (m ³)	建設 年度	埋立 開始 年月	埋立 終了 年月	備考
				遮水工	浸出水処理方式						
宇都宮市	宇都宮市	長岡最終処分場	宇都宮市長岡町795-2	ゴミシート 保護マット+遮水シート+不織布+ポリシート	凝集沈殿・生物処理(脱窒あり)、砂ろ過、消毒、活性炭処理	58,316	475,217	S58~57 (1981~1982)	S58(1983).4	H17(2005).9	埋立生野は第1期埋立地について記載している。
足利市	足利市	月谷処分場	足利市月谷町136	ゴミシート	凝集沈殿・生物処理(脱窒あり)	14,860	137,387	S58~60 (1983~1985)	S60(1985).7	H16(2004).3	
真岡市	真岡市	環境保全センター	真岡市南高面580-3	ゴミシート	凝集沈殿・生物処理(脱窒なし)、砂ろ過、消毒、活性炭処理	11,200	83,550	H2~3 (1990~1991)	H4(1992).4	H28(2016).12	(R2.3 廃止)
芳賀郡中部	益子町 茂木町 市貝町 芳賀町	一般廃棄物最終処分場	益子町大字七井3999	ポリシート	凝集沈殿・生物処理(脱窒あり)、砂ろ過、消毒、活性炭処理	2,420	10,930	H5 (1993)	H6(1994).4	H23(2011).12	
芳賀郡中部	益子町 茂木町 市貝町 芳賀町	環境整備センター	茂木町大字青楓392-2	塩ビシート+ゴミシート+不織布	凝集沈殿・生物処理(脱窒あり)、砂ろ過、消毒、活性炭処理	5,650	20,820	H4~5 (1992~1993)	H5(1993).12	H26(2014).3	
合計		5施設				92,446	727,904				

2 し尿処理の現状

(1) 水洗化の状況 (表 1-11)

総人口 1,981 千人のうち、水洗化人口は 1,874 千人 (94.6%) であり、その内訳は、公共下水道人口が 1,255 千人、浄化槽等人口 (浄化槽人口とコミュニティ・プラント人口の合計) が 619 千人である。

(2) し尿及び浄化槽汚泥処理の状況 (表 1-11、13~15)

収集されたし尿及び浄化槽汚泥の量は、324,003kl であり、市町等が設置するし尿処理施設で処理されている。その内訳は、し尿が 58,318kl、浄化槽汚泥が 265,685kl である。

令和 2 (2020) 年 4 月 1 日現在における市町等が設置するし尿処理施設は 14 施設で、その処理能力の合計は 1,623kl/日である。

また、コミュニティ・プラントは 1 施設で、その計画最大汚水量は 900 m³/日である。

(3) し尿処理費用の状況

平成 30 (2018) 年度における市町等のし尿処理に係る歳出は、建設・改良費が約 452 百万円、処理・維持管理費等が約 3,417 百万円であった。

表 1-11 水洗化人口及びし尿処理量の推移

		24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)
行政区域内人口(人)		2,018,211	2,011,431	2,006,420	1,999,544	1,991,573	1,986,652	1,980,745
計画処理区域内人口(人)		2,018,211	2,011,431	2,006,420	1,999,544	1,991,573	1,986,652	1,980,745
水洗化人口	公共下水道	1,165,229 57.7%	1,215,778 60.4%	1,196,931 59.7%	1,199,881 60.0%	1,221,893 61.4%	1,239,330 62.4%	1,255,148 63.4%
	浄化槽等	716,434 35.5%	673,902 33.5%	685,742 34.2%	681,145 34.1%	651,634 32.7%	634,722 31.9%	619,173 31.3%
	計	1,881,663 93.2%	1,889,680 93.9%	1,882,673 93.8%	1,881,026 94.1%	1,873,527 94.1%	1,874,052 94.3%	1,874,321 94.6%
非水洗化人口		136,548 6.8%	121,751 6.1%	123,747 6.2%	118,518 5.9%	118,046 5.9%	112,600 5.7%	106,424 5.4%
し尿処理量(kl/年)		349,475	344,210	333,412	331,481	334,978	326,972	324,003
計画処理量	し尿処理施設	349,475 100.0%	344,210 100.0%	333,412 100.0%	331,481 100.0%	334,978 100.0%	326,972 100.0%	324,003 100.0%
	その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	計	349,475 100.0%	344,210 100.0%	333,412 100.0%	331,481 100.0%	334,978 100.0%	326,972 100.0%	324,003 100.0%
自家処理量		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

- (注) 1 水洗化人口のうち、「浄化槽等」には「コミュニティ・プラント」を含む。
 2 平成24(2012)年度以降は外国人人口を含む。
 3 水洗化人口には単独処理浄化槽人口を含むものであり、汚水処理人口(国土交通省調査)とは異なる。
 4 し尿処理量には浄化槽汚泥量を含む。

表1-12 人口から見たし尿処理状況(平成30(2018)年度)

市町 事務組合	人口					水洗化人口				非水洗化人口			
	公共下水道	コミュニティ・プラント	浄化槽		うち合併処理 浄化槽	計	計画収集			自家処理			
			浄化槽	コミュニティ・プラント			計画収集	計画収集	自家処理	自家処理			
宇都宮市	441,002	0	67,257	55,228	508,259	14,775	14,775	2.8%	0	0.0%			
足利市	89,346	964	47,455	17,320	137,765	11,256	11,256	7.6%	0	0.0%			
栃木市	91,275	0	62,089	22,898	153,364	8,240	8,240	5.1%	0	0.0%			
鹿沼市	61,979	0	32,735	22,416	94,714	3,262	3,262	3.3%	0	0.0%			
日光市	53,397	0	18,818	14,655	72,215	10,624	10,624	12.8%	0	0.0%			
壬生町	26,888	0	8,794	7,226	35,682	3,883	3,883	9.8%	0	0.0%			
那須広域	101,459	0	86,641	58,898	188,100	28,982	28,982	13.4%	0	0.0%			
大田原市	39,730	0	28,764	19,072	68,494	5,525	5,525	7.5%	0	0.0%			
那須塩原市	59,621	0	37,136	23,912	96,757	20,969	20,969	17.8%	0	0.0%			
那須町	2,108	0	20,741	15,914	22,849	2,488	2,488	9.8%	0	0.0%			
佐野衛生	77,783	0	38,533	13,584	116,316	2,770	2,770	2.3%	0	0.0%			
佐野市	77,783	0	38,533	13,584	116,316	2,770	2,770	2.3%	0	0.0%			
芳賀広域	60,176	0	79,373	55,621	139,549	5,156	5,156	3.6%	0	0.0%			
真岡市	47,703	0	31,163	18,931	78,866	1,942	1,942	2.4%	0	0.0%			
益子町	4,546	0	17,192	11,866	21,738	1,511	1,511	6.5%	0	0.0%			
茂木町	2,659	0	9,928	6,063	12,587	522	522	4.0%	0	0.0%			
市貝町	1,939	0	9,268	7,526	11,207	593	593	5.0%	0	0.0%			
芳賀町	3,329	0	11,822	11,235	15,151	588	588	3.7%	0	0.0%			
南那須広域	8,395	0	32,617	17,883	41,012	2,457	2,457	5.7%	0	0.0%			
那須烏山市	4,539	0	21,297	11,115	25,836	931	931	3.5%	0	0.0%			
那珂川町	3,856	0	11,320	6,768	15,176	1,526	1,526	9.1%	0	0.0%			
塩谷広域	47,337	0	61,212	37,314	108,549	9,682	9,682	8.2%	0	0.0%			
矢板市	12,013	0	17,406	10,482	29,419	3,393	3,393	10.3%	0	0.0%			
さくら市	21,708	0	20,470	14,140	42,178	2,080	2,080	4.7%	0	0.0%			
塩谷町	0	0	7,935	4,287	7,935	3,432	3,432	30.2%	0	0.0%			
高根沢町	13,616	0	15,401	8,405	29,017	777	777	2.6%	0	0.0%			
小山広域	196,111	0	82,685	51,551	278,796	5,337	5,337	1.9%	0	0.0%			
小山市	109,456	0	53,949	30,565	163,405	3,869	3,869	2.3%	0	0.0%			
下野市	46,223	0	13,261	10,986	59,484	497	497	0.8%	0	0.0%			
上三川町	21,698	0	9,080	4,690	30,778	488	488	1.6%	0	0.0%			
野木町	18,734	0	6,395	5,310	25,129	483	483	1.9%	0	0.0%			
合計	1,255,148	964	618,209	374,594	1,874,321	106,424	106,424	5.4%	0	0.0%			

(注) 栃木市の数値には、佐野地区衛生施設組合にし尿処理を委託している旧岩舟町区域及び旧藤岡町区域を含む。

表1-13 計画収集量から見たし尿処理状況(平成30(2018)年度)

市町 事務組合	自家処理量						計画処理量											
	し尿	浄化槽汚泥		計	し尿処理施設		その他		計		直営		収集形態別 委託					
		し尿	浄化槽汚泥		し尿	浄化槽汚泥	し尿	浄化槽汚泥	し尿	浄化槽汚泥	し尿	浄化槽汚泥	し尿	浄化槽汚泥	し尿	浄化槽汚泥		
																	し尿	浄化槽汚泥
宇都宮市	0	0	0	35,764	0	6,568	35,764	0	6,568	0	0	6,568	0	0	35,764			
足利市	0	0	0	23,267	0	4,583	23,267	0	4,583	0	0	4,583	0	0	23,267			
栃木市	0	0	0	27,447	0	5,050	27,447	0	5,050	0	0	5,050	0	0	27,447			
鹿沼市	0	0	0	14,668	0	2,998	14,668	0	2,998	753	444	444	71	0	13,844			
日光市	0	0	0	11,247	0	3,536	11,247	0	3,536	0	0	3,536	0	0	11,247			
壬生町	0	0	0	4,000	0	708	4,000	0	708	0	0	0	0	708	4,000			
那須広域	0	0	0	42,823	0	10,282	42,823	0	10,282	0	0	0	0	10,282	42,823			
大田原市	0	0	0	13,398	0	2,766	13,398	0	2,766	0	0	0	0	2,766	13,398			
那須塩原市	0	0	0	18,186	0	5,879	18,186	0	5,879	0	0	0	0	5,879	18,186			
那須町	0	0	0	11,239	0	1,637	11,239	0	1,637	0	0	0	0	1,637	11,239			
佐野衛生	0	0	0	20,681	0	6,110	20,681	0	6,110	0	0	0	0	6,110	20,681			
佐野市	0	0	0	20,681	0	6,110	20,681	0	6,110	0	0	0	0	6,110	20,681			
芳賀広域	0	0	0	23,877	0	4,611	23,877	0	4,611	8,129	0	15,748	0	0	0			
真岡市	0	0	0	9,122	0	1,737	9,122	0	1,737	1,028	0	8,094	0	0	0			
益子町	0	0	0	4,874	0	1,351	4,874	0	1,351	4,765	0	109	0	0	0			
茂木町	0	0	0	2,717	0	467	2,717	0	467	406	0	2,311	0	0	0			
市貝町	0	0	0	3,048	0	530	3,048	0	530	1,118	0	1,930	0	0	0			
芳賀町	0	0	0	4,116	0	526	4,116	0	526	812	0	3,304	0	0	0			
南那須広域	0	0	0	12,101	0	2,459	12,101	0	2,459	0	0	0	0	2,459	12,101			
那須烏山市	0	0	0	7,819	0	1,350	7,819	0	1,350	0	0	0	0	1,350	7,819			
那珂川町	0	0	0	4,282	0	1,109	4,282	0	1,109	0	0	0	0	1,109	4,282			
塩谷広域	0	0	0	23,192	0	3,994	23,192	0	3,994	0	0	0	0	3,994	23,192			
矢板市	0	0	0	5,522	0	1,544	5,522	0	1,544	0	0	0	0	1,544	5,522			
さくら市	0	0	0	6,799	0	1,188	6,799	0	1,188	0	0	0	0	1,188	6,799			
塩谷町	0	0	0	4,498	0	625	4,498	0	625	0	0	0	0	625	4,498			
高根沢町	0	0	0	6,373	0	637	6,373	0	637	0	0	0	0	637	6,373			
小山広域	0	0	0	26,618	0	7,419	26,618	0	7,419	0	0	0	0	7,419	26,618			
小山市	0	0	0	11,212	0	5,548	11,212	0	5,548	0	0	0	0	5,548	11,212			
下野市	0	0	0	5,623	0	861	5,623	0	861	0	0	0	0	861	5,623			
上三川町	0	0	0	6,527	0	514	6,527	0	514	0	0	0	0	514	6,527			
野木町	0	0	0	3,256	0	496	3,256	0	496	0	0	0	0	496	3,256			
合計	0	0	0	265,685	0	58,318	265,685	0	58,318	11,748	8,882	10,548	15,819	36,022	240,984			

(注) 栃木市の数値には、佐野地区衛生施設組合にし尿処理を委託している旧岩舟町区域分及び旧藤岡町区域分を含む。

表1-14 処理施設の状況(市町等)

市町 事務組合	構成市町名	施設名	施設の所在地	処理能力 (kl/日)	処理方式		建設 年度	使用 開始 年月	処理実績(30(2018)年度)			備考	
					(高度処理設備)	(汚泥処理 設備)			年間処理量	施設内 汚泥焼却 処理量 (t/年)	その他 (kl/年)		
								し尿 (kl/年)	浄化槽汚泥 (kl/年)	年間処理量 (kl/年)			
宇都宮市	東横田清掃工場	東横田クリーンセンター	宇都宮市東横田町136	185	標準脱窒素(凝集沈殿、オゾン酸化、砂ろ過、活性炭吸着)	脱水、乾燥、焼却	S57~59 (1982~1984)	S59(1984).10	6,568	35,764	0	1,165	
足利市	東部クリーンセンター	東部クリーンセンター	足利市山川町85-2	175	標準脱窒素(オゾン酸化、砂ろ過、活性炭吸着)	脱水、乾燥、焼却	H2~4 (1990~1992)	H5(1993).3	4,583	23,267	0	36	
栃木市	衛生センター	衛生センター	栃木市城内町2-61-5	75	高負荷(凝集沈殿、砂ろ過、活性炭吸着)	脱水	H5~7 (1993~1995)	H7(1995).12	5,050	27,447	0	-	
鹿沼市	環境クリーンセンター	環境クリーンセンター	鹿沼市上殿町673-1	89	高負荷(凝集沈殿、砂ろ過、活性炭吸着)	脱水、焼却	H6~8 (1994~1996)	H9(1997).3	2,998	14,668	71	532	
日光市	環境センター	環境センター	日光市町谷1801-2	82	高負荷(砂ろ過、活性炭吸着)	脱水	H2~4 (1990~1992)	H5(1993).10	3,536	11,427	0	-	
壬生町	クリーンセンター	クリーンセンター	壬生町大字壬生甲1955-3	36	高負荷(凝集沈殿、オゾン酸化、砂ろ過、活性炭吸着)	脱水	S63~H5 (1988~1989)	H元(1989).3	708	4,000	0	-	
那須広域	第1衛生センター	第1衛生センター	大田原市町島252-3	60	高負荷(砂ろ過、活性炭吸着)	脱水	S61~62 (1986~1987)	S63(1988).3	0	0	0	-	H30(2018).3.31休止
	第2衛生センター	第2衛生センター	那須塩原市越堀650-2	150	標準脱窒素(凝集沈殿、オゾン酸化、砂ろ過、活性炭吸着)	脱水、乾燥、焼却	S54~56 (1979~1981)	S56(1981).9	10,282	42,823	0	4,209	
佐野衛生	衛生センター	衛生センター	佐野市植下町2550	220	標準脱窒素(加圧浮上、オゾン酸化、砂ろ過)	脱水、乾燥、焼却	S57~59 (1982~1984)	S60(1985).3	6,110	20,681	0	933	
芳賀広域	第一環境クリーンセンター	第一環境クリーンセンター	益子町七井2430	90	標準脱窒素(凝集沈殿、オゾン酸化、砂ろ過)	脱水	S59~61 (1984~1986)	S62(1987).4	2,874	14,755	0	-	
	第二環境クリーンセンター	第二環境クリーンセンター	真岡市三谷780	90	標準脱窒素(加圧浮上、オゾン酸化、砂ろ過)	脱水	S55~56 (1980~1981)	S57(1982).4	1,737	9,122	0	-	
南那須広域	保健衛生センター	保健衛生センター	那須烏山市大桶444	70	標準脱窒素(凝集沈殿、オゾン酸化、砂ろ過、活性炭吸着)	脱水	S58~60 (1983~1985)	S60(1985).8	2,459	12,101	0	-	
塩谷広域	しおやクリーンセンター	しおやクリーンセンター	矢板市安沢3622-1	110	高負荷脱窒素(凝集沈殿、オゾン酸化、砂ろ過、活性炭吸着)	脱水	H8~10 (1996~1998)	H10(1998).12	3,994	23,192	0	1,506	R2.軽微変更
小山広域	小山広域クリーンセンター	小山広域クリーンセンター	小山市大字塩沢604	191	高負荷脱窒素(凝集沈殿、活性炭吸着)	脱水	H13~15 (2001~2003)	H16(2004).4	7,419	26,618	139	-	
合計	14施設			1,623					58,318	265,865	210	8,381	

表1-15 コミュニティ・プラントの状況(市町等)

市町 事務組合	施設名	施設の所在地	処理方式	計画最大 汚水量 (m ³ /日)	建設 年度	使用 開始 年月	処理実績(30(2018)年度)		備考
							年間処理量 (kl/年)	年間処理量 (kl/年)	
足利市	堀里水処理センター	足利市堀込町1001-63	長時間ばっ気	900	H6~7 (1994~1995)	H8(1996).4		110,263	
合計	1施設			900				110,263	

3 その他

表1-16 ごみ処理有料化の実施状況(生活系可燃ごみの状況)

令和2(2020)年4月1日現在

市町	有料化 導入済 (導入年度)	指定袋制 導入済	詳細
宇都宮市			
足利市	○ (H20(2008))		有料指定袋…可燃ごみ→容量45ℓ1枚15円・容量20ℓ1枚10円・容量10ℓ1枚7円
栃木市		○	指定袋…可燃ごみ→容量45ℓ10枚85円・容量30ℓ10枚66円・容量20ℓ10枚61円(消費税別)
佐野市			
鹿沼市	○ (H18(2006))		有料指定袋…可燃ごみ→容量45ℓ1枚30円・容量30ℓ1枚20円・容量20ℓ1枚15円・容量10ℓ1枚7.5円
日光市	○ (H30(2018))		有料指定袋…可燃ごみ→容量45ℓ1枚45円・容量30ℓ1枚30円・容量20ℓ1枚20円・容量10ℓ1枚10円
小山市			
真岡市	○ (H26(2014))		有料指定袋…可燃ごみ→容量45ℓ1枚50円・容量30ℓ1枚30円・容量20ℓ1枚20円
大田原市		○	指定袋…可燃ごみ→容量45ℓ1枚20円・容量30ℓ1枚17円・容量20ℓ1枚14円
矢板市	○ (H7(1995))		有料指定袋…可燃ごみ→容量40ℓ1枚40円・容量30ℓ1枚30円・容量20ℓ1枚20円
那須塩原市	○ (H21(2009))		有料指定袋…可燃ごみ→容量45ℓ1枚50円・容量30ℓ1枚30円・容量20ℓ1枚20円
さくら市	○ (H7(1995))		有料指定袋…可燃ごみ→容量40ℓ1枚40円・容量30ℓ1枚30円・容量20ℓ1枚20円
那須烏山市		○	指定袋…可燃ごみ→容量45ℓ1枚20円・容量30ℓ1枚13円
下野市			
上三川町			
益子町	○ (S45(1970))		有料指定袋…可燃ごみ→容量45ℓ1枚50円・容量30ℓ1枚30円 有料指定袋…生ごみのみ→容量10ℓ1枚10円
茂木町	○ (H3(1991))		有料指定袋…可燃ごみ→容量45ℓ1枚50円・容量30ℓ1枚30円 指定袋…生ごみのみ→容量20ℓ1枚15円・容量10ℓ1枚10円
市貝町	○ (S45(1970))		有料指定袋…可燃ごみ→容量45ℓ1枚50円・容量30ℓ1枚30円
芳賀町	○ (S45(1970))		有料指定袋…可燃ごみ→容量45ℓ1枚50円・容量30ℓ1枚30円
壬生町			
野木町		△	指定袋…生ごみのみ→大1枚15円・小1枚10円
塩谷町	○ (H7(1995))		有料指定袋…可燃ごみ→容量40ℓ1枚40円・容量30ℓ1枚30円・容量20ℓ1枚20円
高根沢町	○ (H7(1995))		有料指定袋…可燃ごみ→容量40ℓ1枚40円・容量30ℓ1枚30円・容量20ℓ1枚20円
那須町	○ (H25(2013))		有料指定袋…可燃ごみ→容量45ℓ1枚50円・容量30ℓ1枚30円・容量20ℓ1枚20円・容量10ℓ1枚10円
那珂川町		○	指定袋…可燃ごみ→容量45ℓ1枚20円・容量30ℓ1枚13円
合計	14	5	

(注) 有料化 : 指定袋の料金に一般廃棄物処理についての手数料を上乗せしている。
指定袋制 : 指定袋の料金に一般廃棄物処理についての手数料が上乗せされていない。

第2 産業廃棄物

産業廃棄物の排出量は、景気動向、企業立地等の影響により増減する傾向にあり、今なお高水準で推移している。一方、最終処分場の新規立地難は解消されておらず、また、不法投棄を始めとする不適正処理については、改善傾向が見られるものの未だ撲滅には至っていない。

このような状況を踏まえ、平成28(2016)年3月に策定した「栃木県廃棄物処理計画」(計画期間：平成28(2016)年度～令和2(2020)年度)に基づき、廃棄物の排出抑制や適正処理の促進とともに、循環型社会の形成において重要な役割を果たす廃棄物・リサイクル産業の育成など、各種施策を推進してきた。

なお、産業廃棄物は排出事業者自らが処理することを原則としていることから、その処理を処理業者に委託する場合においても、排出事業者が最終処分まで適正に処理されるよう責任を持つことが重要である。また、処理業者に対しても、適正処理の一層の徹底を図るよう指導することが重要となっている。

1 産業廃棄物に関する現状

(1) 排出及び処理の状況(推計量)

ア 栃木県の産業廃棄物の排出・処理の状況

平成30(2018)年度における県内の産業廃棄物排出量は約838万トンと推計される(表2-1、2)。

また、農業、鉱業を除いた産業廃棄物の排出量約438万トンのうち、再生利用量は約220万トン、減量化量は約209万トン、最終処分量は約8万7千トンと推計される(表2-3、図2-1、表2-4)。

県内の産業廃棄物の排出及び処理の状況をまとめると、図2-2のとおりである。

なお、平成30(2018)年度推計値と栃木県廃棄物処理計画(平成28(2016)年3月策定)における目標値又は定期的な推移確認のための参考値を比較した結果は次のとおりであり、更なる排出抑制や再生利用の促進が求められる。

	推計値 (H30(2018)年度)	目標値又は参考値 ^{*1、2} (R2(2020)年度)
排出量	4,380千t	4,292千t ^{*2}
再生利用率(量)	50.2%(2,199千t)	53.0% ^{*2} (2,275千t)
最終処分量(量)	2.0%(87千t)	2.1%(88千t ^{*1})

※1 栃木県廃棄物処理計画(平成28(2016)年3月策定)における目標値

※2 環境大臣が定める基本方針に準じた参考値

イ 産業廃棄物の中間処理の状況

平成30(2018)年度に県内で排出された産業廃棄物のうち、中間処理された廃棄物は、約424万トンと推計される。委託により中間処理された廃棄物量約228万トン(自己中間処理後物を中間処理に委託した量を含む。)のうち、県内の中間処理業者に委託された量は約179万トン、県外の中間処理業者に委託された量は約50万トンと推計される(表2-5)。

ウ 産業廃棄物の最終処分の状況

平成30(2018)年度に県内で排出された産業廃棄物のうち、安定型最終処分場で処理された廃棄物は、約4万3千トンと推計される。このうち、約3万6千トン(82.8%)が県内の処分場で、約7千トン(17.2%)が県外の処分場で処理されている(表2-6、図2-3)。

また、管理型最終処分場で処理された廃棄物は、約4万3千トンであり、県内には管理型最終処分場が設置されていないため、その全量が県外の処分場で処理されている(表2-6、図2-4)。

県外で最終処分された廃棄物は約5万1千トンであり、県内で排出された産業廃棄物の最終処分量の58.6%を占めている。

表 2 - 1 年度別種類別排出推計量

(単位:千t・%)

	26年度 (2014)		27年度 (2015)		28年度 (2016)		29年度 (2017)		30年度 (2018)	
		割合		割合		割合		割合		割合
汚泥	3,124	38.0	3,120	37.9	3,031	36.7	3,026	36.0	3,083	36.8
動物のふん尿	2,798	34.0	2,765	33.6	2,882	34.9	2,880	34.3	2,941	35.1
がれき類	986	12.0	1,074	13.1	1,087	13.2	1,185	14.1	1,011	12.1
鉱さい	354	4.3	314	3.8	315	3.8	316	3.8	335	4.0
木くず	173	2.1	179	2.2	177	2.1	188	2.2	172	2.1
廃プラスチック類	172	2.1	168	2.0	158	1.9	159	1.9	189	2.3
ガラス陶磁器くず	135	1.6	134	1.6	132	1.6	138	1.6	154	1.8
金属くず	122	1.5	117	1.4	120	1.5	123	1.5	30	0.4
その他	366	4.4	357	4.3	360	4.4	379	4.5	469	5.6
合 計	8,231	100.0	8,228	100.0	8,261	100.0	8,395	100.0	8,384	100.0
()内は前年比	(101.6%)		(100.0%)		(100.4%)		(101.6%)		(99.9%)	

表 2 - 2 年度別業種別排出推計量

(単位:千t・%)

	26年度 (2014)		27年度 (2015)		28年度 (2016)		29年度 (2017)		30年度 (2018)	
		割合		割合		割合		割合		割合
農業	2,805	34.1	2,772	33.7	2,889	35.0	2,887	34.4	2,948	35.2
鉱業	1,148	13.9	1,103	13.4	1,004	12.2	992	11.8	1,057	12.6
製造業	1,682	20.4	1,662	20.2	1,678	20.3	1,693	20.2	1,592	19.0
電気・ガス 水道業	1,209	14.7	1,208	14.7	1,222	14.8	1,231	14.7	1,277	15.2
建設業	1,177	14.3	1,285	15.6	1,293	15.6	1,410	16.8	1,211	14.4
その他	210	2.5	198	2.4	174	2.1	182	2.2	300	3.6
小 計	4,278	52.0	4,353	52.9	4,367	52.9	4,516	53.8	4,380	52.2
合 計	8,231	100.0	8,228	100.0	8,261	100.0	8,395	100.0	8,384	100.0

表 2-3 産業廃棄物の種類別処理状況（農業・鉱業に係るものを除く。）

（単位：千t・%）

	再生利用量		減量化量		最終処分量		保管量		排出量
		割合		割合		割合		割合	
汚泥	109 (158)	5.4 (7.8)	1,906 (1,859)	94.1 (91.4)	11 (17)	0.5 (0.8)	0 (0)	0.0 (0.0)	2,026 (2,034)
がれき類	1,000 (1,169)	98.9 (98.6)			11 (17)	1.1 (1.4)			1,011 (1,185)
鉱さい	331 (312)	98.9 (98.8)			4 (4)	1.1 (1.2)	0	0.0	335 (316)
木くず	126 (125)	73.3 (66.7)	43 (57)	25.1 (30.4)	3 (5)	1.6 (2.9)	0	0.0	172 (188)
廃プラスチック類	147 (90)	78.7 (57.8)	25 (52)	13.2 (33.2)	15 (14)	8.0 (9.0)	0	0.0	186 (156)
ガラス陶磁器くず	130 (120)	84.3 (86.8)			24 (18)	15.6 (13.2)	0	0.0	154 (138)
金属くず	30 (123)	97.3 (99.3)			1 (1)	2.7 (0.7)	0	0.0	30 (123)
その他	327 (259)	70.3 (69.0)	120 (94)	25.8 (25.0)	18 (23)	3.9 (6.0)	0	0.0	465 (375)
合 計	2,199 (2,355)	50.2 (52.2)	2,094 (2,061)	47.8 (45.6)	87 (99)	2.0 (2.2)	0 (0)	0.0 (0.0)	4,380 (4,516)

注) () 内は前年度の値

図 2-1 産業廃棄物の種類別処理状況（農業・鉱業に係るものを除く。）

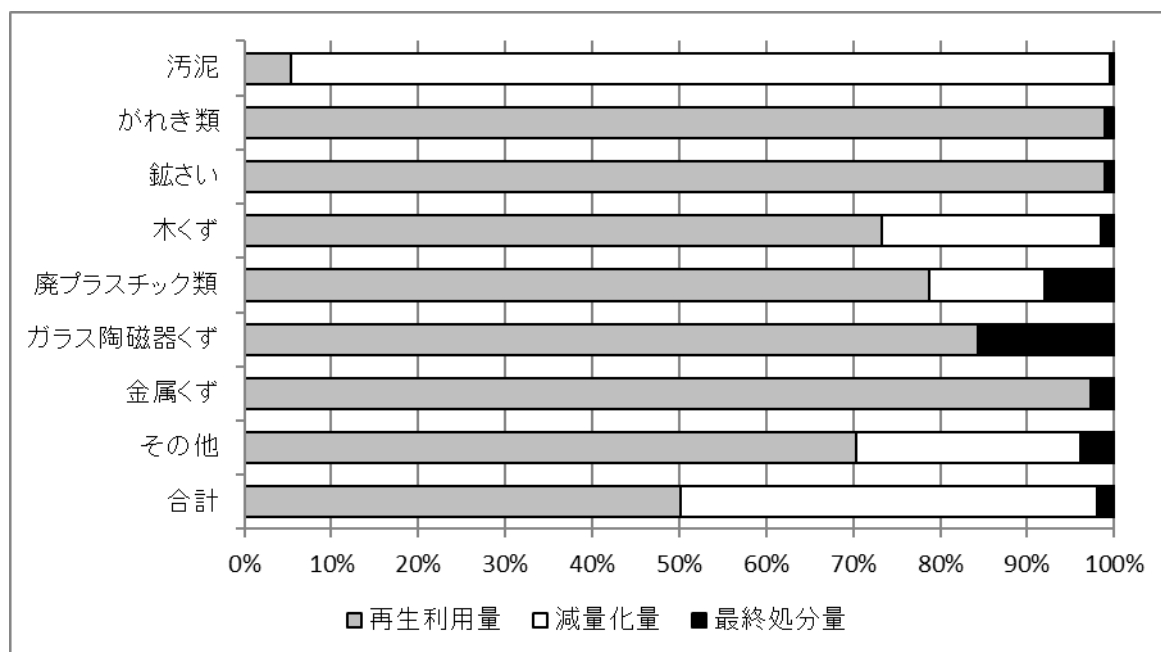


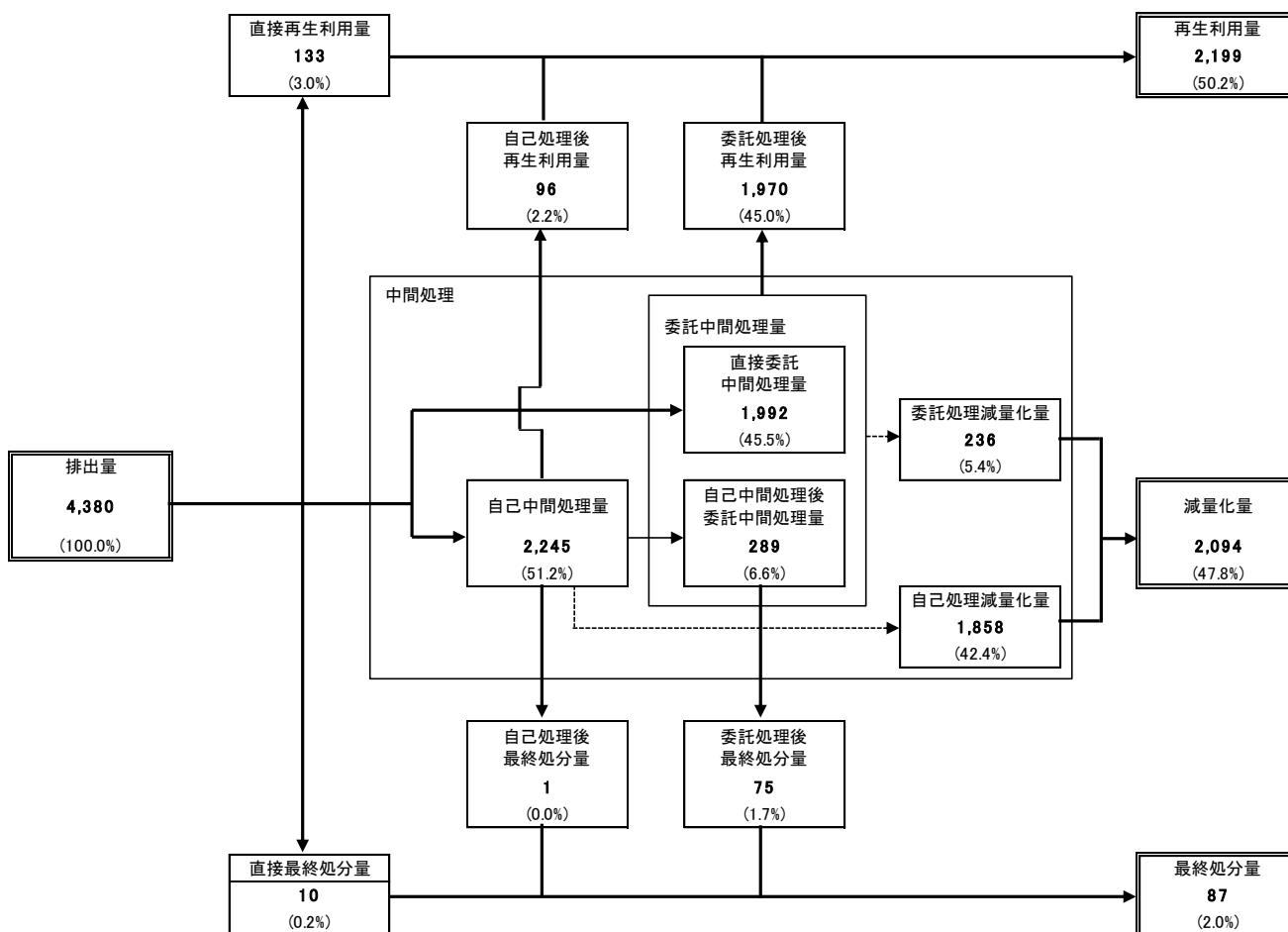
表 2-4 産業廃棄物の年度別処理状況（農業・鉱業に係るものを除く。）

(単位:千t・%)

	再生利用量		減量化量		最終処分量		保管量		排出量
	量	割合	量	割合	量	割合	量	割合	
26年度 (2014)	2,179	50.9	2,004	46.8	94	2.2	0	0.0	4,278
27年度 (2015)	2,220	51.0	2,038	46.8	95	2.2	0	0.0	4,353
28年度 (2016)	2,229	51.0	2,043	46.8	95	2.2	0	0.0	4,367
29年度 (2017)	2,355	52.2	2,061	45.6	99	2.2	0	0.0	4,516
30年度 (2018)	2,199	50.2	2,094	47.8	87	2.0	0	0.0	4,380

図 2-2 県内の産業廃棄物の処理、処分及び再生利用状況フロー（農業・鉱業に係るものを除く。）

(単位:千t/年)



1. ()内は排出量に対する割合

表 2-5 産業廃棄物の処理状況 -中間処理-

(単位:千t・%)

	自社処理		委託(県内)		委託(県外)		合計
		構成比		構成比		構成比	
脱水	2,036	98.3	17	0.8	17	0.8	2,070
破碎	143	9.7	1,196	81.0	137	9.3	1,477
焼却	27	11.5	108	46.9	96	41.7	231
焼成			205	75.0	68	25.0	274
金属(鉄)回収	1	16.4	3	72.0	1	11.6	5
堆肥化			138	84.5	25	15.5	164
乾燥	17	43.7	17	45.1	4	11.2	39
中和	0	0.0	22	36.0	39	64.0	61
油水分離	0	0.1	13	44.2	16	55.8	28
非鉄金属回収	0	0.0	1	4.5	23	95.5	24
圧縮	1	10.0	3	37.7	4	52.3	8
切断	0	2.7	2	42.2	3	55.1	5
その他	20	14.6	58	41.9	61	43.5	139
合計	2,245	49.6	1,785	39.4	495	10.9	4,525

1. 自動車リサイクル法に基づく使用済自動車は含まれていない。
2. 委託には自己中間処理後の委託中間処理量を含む。

表 2-6 県内排出産業廃棄物の処理状況 -最終処分-

(単位:千t・%)

	県内		県外		合計
		構成比		構成比	
安定型	36	82.8	7	17.2	43
管理型	-	-	43	100.0	43
合計	36	41.4	51	58.6	87

1. 各項目で四捨五入しているため、合計と内訳が一致しないことがある。

図 2-3 最終処分状況 -安定型-

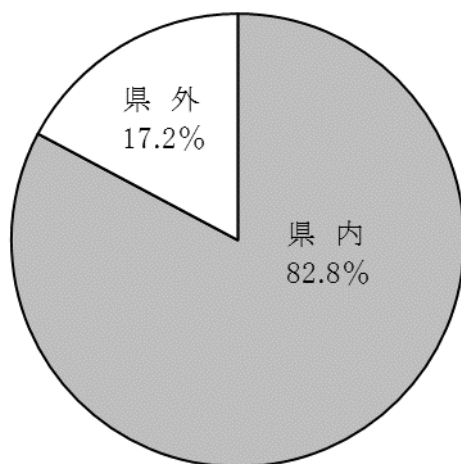
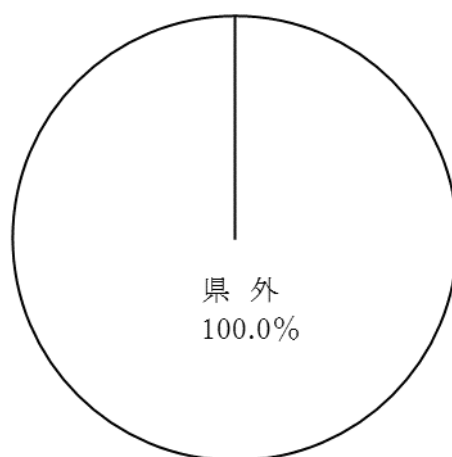


図 2-4 最終処分状況 -管理型-



(2) 産業廃棄物処理業者による処理の状況（実績値）

ア 中間処理及び最終処分の状況（産業廃棄物処分業者の実績報告による）

平成30(2018)年度に県内の中間処理業者が処理した産業廃棄物は、約502万トンであった。その内訳は、県内で排出された産業廃棄物が約243万トン、県外で排出された産業廃棄物量が約259万トンであった（表2-7、図2-5）。

また、県内の最終処分業者が処理した産業廃棄物は、約13万トンであった。その内訳は、県内で排出された産業廃棄物が約7万トン、県外で排出された産業廃棄物が約6万トンであった（表2-7、図2-6）。

イ 収集運搬の状況（産業廃棄物収集運搬業者の実績報告による）

平成30(2018)年度に県外に搬出された産業廃棄物は、約80万トン（中間処理場への搬出：約69万トン、最終処分場への搬出：約11万トン）であった（表2-8）。搬出先を地域別で見ると、中間処理については、群馬県、ついで埼玉県の中間処理場への搬出が多い状況であった。また、最終処分については、宮城県、ついで富山県の最終処分場への搬出が多い状況であった（図2-7、8）。

一方、県外から搬入された産業廃棄物は、約220万トン（中間処理場への搬入：約216万トン、最終処分場への搬入：約4万トン）であった（表2-8）。搬入元を地域別で見ると、中間処理場、最終処分場ともに搬入量が多い地域は埼玉県、ついで東京都と、いずれも南関東からの搬入が多い状況であった（図2-9、10）。

表2-7 処分業者の排出地域別処理実績

(単位:千t・%)

	県内排出		県外排出		合計
		割合		割合	
中間処理業者	2,428	48.4	2,589	51.6	5,017
最終処分業者	73	55.1	60	44.9	133
合計	2,501	48.6	2,649	51.4	5,150

注) 表2-5、6とは集計方法が異なるので、内訳の数字が一致しないことがある。

図2-5 排出地域別中間処理実績

図2-6 排出地域別最終処分実績

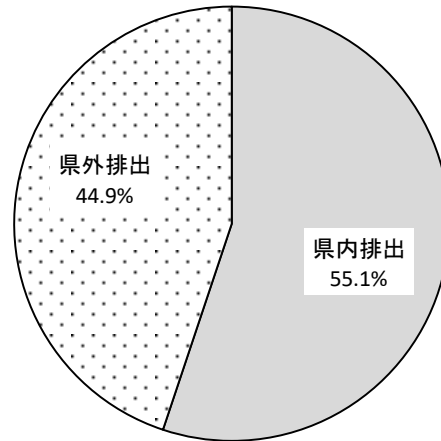
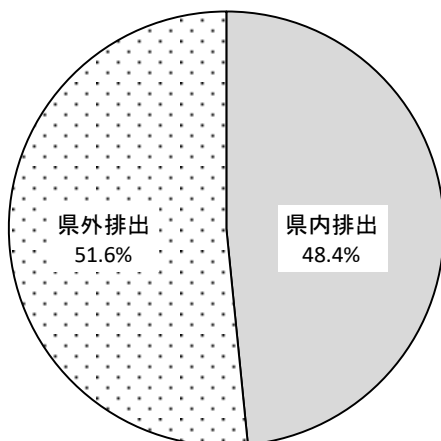


表 2-8 収集運搬業者の運搬地域別処理実績

(単位:千t)

	県内→県内	県内→県外	県外→県内	合計
中間処理目的	1,726	693	2,159	4,577
最終処分目的	40	105	43	188
合計	1,765	798	2,202	

図 2-7 産業廃棄物収集運搬業者により県外に搬出された産業廃棄物の地域別状況

(中間処理目的)

【県内→県外】

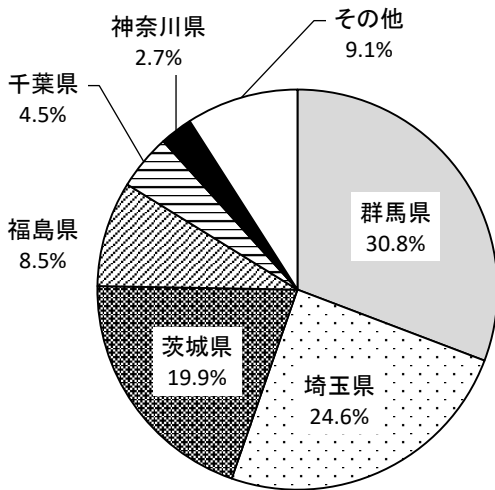


図 2-8 産業廃棄物収集運搬業者により県外に搬出された産業廃棄物の地域別状況

(最終処分目的)

【県内→県外】

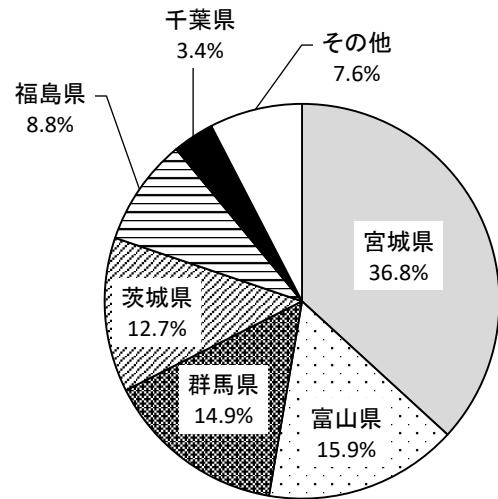


図 2-9 産業廃棄物収集運搬業者により県内に搬入された産業廃棄物の地域別状況

(中間処理目的)

【県外→県内】

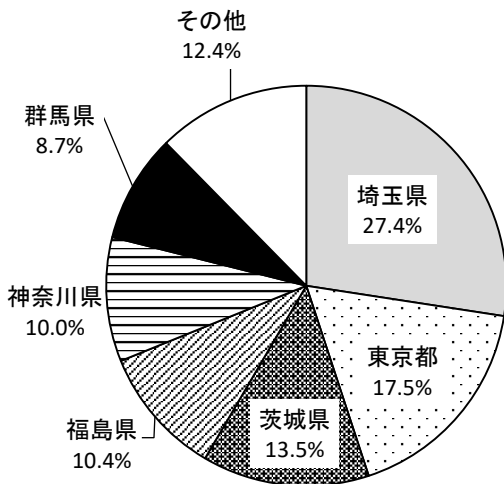
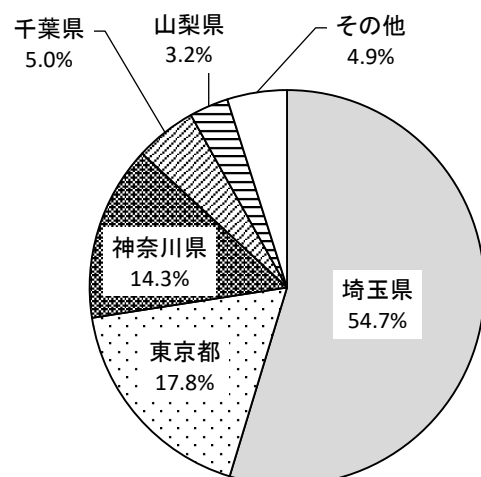


図 2-10 産業廃棄物収集運搬業者により県内に搬入された産業廃棄物の地域別状況

(最終処分目的)

【県外→県内】



(3) 産業廃棄物処理施設の設置状況

令和2(2020)年4月1日現在、県内に設置されている中間処理施設は463施設である。このうち、事業者による設置は25施設、処理業者による設置は438施設である。事業者が設置している施設では、破碎・切断施設(11施設)、焼却施設(7施設)が多い。処理業者が設置している施設では、破碎・切断施設(259施設、全施設合計71,890t/日)、圧縮・減容施設(47施設、全施設合計3,113t/日)、焼却施設(21施設、全施設合計991t/日)が多いが、施設の種類の多岐に渡っている(表2-9)。

焼却施設における熱回収は、平成31(2019)年4月1日現在、事業者設置の焼却施設では7施設すべてが、処理業者設置の焼却施設では22施設のうち7施設が実施している状況である(表2-10)。

最終処分場については、令和2(2020)年3月末現在、県内に設置されている安定型最終処分場のうち、残余容量があるものは12施設である(表2-11)。

なお、産業廃棄物処理施設等の設置に当たっては、「栃木県廃棄物処理に関する指導要綱」及び廃棄物処理施設等協議会において技術的な審査及び関係法令の調整を行っている。

また、特に廃棄物処理法の許可対象施設のうち最終処分場及び焼却施設については、告示縦覧、市町村長の意見聴取、生活環境保全に関し専門的知識を有する者の意見聴取を行っている。

表2-9 中間処理施設の設置状況(令和2(2020)年4月1日現在)

(単位:t/日)

	事業者		処理業者		合計	
	施設数	処理能力	施設数	処理能力	施設数	処理能力
焼却	7 (7)	142 (142)	21 (22)	991 (1,063)	28 (29)	1,133 (1,205)
溶融・焼成	- (-)	- (-)	10 (11)	3,926 (3,890)	10 (11)	3,926 (3,890)
脱水・乾燥	4 (4)	456 (456)	15 (15)	1,103 (1,103)	19 (19)	1,559 (1,559)
油水分離・ろ過	1 (1)	32 (32)	6 (6)	959 (959)	7 (7)	991 (991)
中和	- (-)	- (-)	8 (8)	1,606 (1,606)	8 (8)	1,606 (1,606)
破碎・切断	11 (8)	1,367 (712)	259 (250)	71,890 (73,619)	270 (258)	73,257 (74,331)
堆肥化	- (-)	- (-)	19 (18)	1,869 (1,859)	19 (18)	1,869 (1,859)
固形化	- (-)	- (-)	8 (8)	1,212 (1,212)	8 (8)	1,212 (1,212)
圧縮・減容	- (-)	- (-)	47 (47)	3,113 (3,101)	47 (47)	3,113 (3,101)
その他	2 (-)	5 (-)	45 (36)	6,097 (5,569)	47 (36)	6,102 (5,569)
合計	25 (20)	2,002 (1,342)	438 (421)	92,766 (93,981)	463 (441)	94,768 (95,323)

1. ()内の数値は平成31(2019)年4月1日現在の値。

2. 事業者の施設数は廃棄物処理法の許可対象施設のみ数であり、処理業者の施設数は許可対象外の施設数を含む。

3. 宇都宮市が所管する施設も含む。

表 2-10 県内の焼却施設における熱回収の状況（平成31(2019)年4月1日現在）
（単位：施設）

	事業者	処理業者	合計
熱回収	7 (0)	7 (2)	14 (2)
熱利用	6 (0)	2 (0)	8 (0)
発電	1 (0)	6 (2)	7 (2)
熱回収なし	0	14	14

1. 「熱回収あり」の施設では、「熱利用」、「発電」共に実施している施設があるため、合計と内訳が一致しない。
2. ()内の数は、施設外に熱エネルギー又は電力を供給している施設の数である。

表 2-11 安定型最終処分場の設置状況（各年度末現在）

	施設数	残余容量（千m ³ ）
平成19年度 (2007)	15	2,854
20年度 (2008)	15	2,585
21年度 (2009)	15	2,410
22年度 (2010)	14	2,118
23年度 (2011)	14	1,822
24年度 (2012)	11	1,573
25年度 (2013)	11	1,356
26年度 (2014)	11	1,176
27年度 (2015)	11	1,025
28年度 (2016)	11	872
29年度 (2017)	12	1,452
30年度 (2018)	12	1,262
令和元年度 (2019)	12	

1. 宇都宮市が所管する施設も含む。
2. 新規許可又は変更許可を受けた施設は当該施設の使用前検査を受けた年度から、軽微変更等届出（埋立容量の変更に限る。）又は埋立処分終了届出を受けた施設は届出を受けた年度から、施設数又は残余容量の数値を加除している。

(4) 産業廃棄物処理業者及び許可の状況

産業廃棄物処理業の許可は、産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処分業、特別管理産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物処分業の4種類に区分されている。

平成31(2019)年3月末現在、栃木県知事の産業廃棄物収集運搬業の許可を有する者は5,025業者であり、そのうち2,096業者は、県内に主たる事務所を有する業者である。また、県内で産業廃棄物処分業の許可を有する者のうち、中間処理の許可を有する者は195業者、最終処分の許可を有する者は12業者である(表2-12)。

なお、産業廃棄物処理業者のうち県内で優良認定を受けた者は、平成31(2019)年3月末現在、204業者であり、そのうち、収集運搬業に係る認定が281件、処分業許可に係る認定が29件である(表2-13)。

平成30(2018)年度における産業廃棄物処理業の許可(新規・更新・変更)は955件であり、そのうち924件が収集運搬業に係るものであった(表2-14)。

表2-12 産業廃棄物処理業者の状況(各年度末現在)

(単位:件)

			26年度 (2014)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	
産業廃棄物 収集運搬業			4,574	4,734	4,753	4,883	5,025	
	県内	県	1,884	1,961	2,018	2,059	2,096	
		県外	2,690	2,773	2,735	2,824	2,929	
産業廃棄物 処分業			181	178	182	183	180	
			宇都宮市	25	25	27	27	27
	中間処理	県	171	168	172	173	169	
		宇都宮市	24	24	26	26	26	
	最終処分	県	10	10	10	10	11	
		宇都宮市	1	1	1	1	1	
特別管理 産業廃棄物 収集運搬業			503	512	515	532	563	
	県内	県	83	83	82	86	91	
		県外	420	429	433	446	472	
特別管理 産業廃棄物 処分業			5	5	5	5	4	
			宇都宮市	1	1	1	1	
	中間処理	県	5	5	5	5	4	
		宇都宮市	1	1	1	1	1	
	最終処分	県	—	—	—	—	—	
		宇都宮市	—	—	—	—	—	

1. 収集運搬業については、県許可業者数のみを計上した(平成23(2011)年4月1日からの許可合理化により、宇都宮市許可業者のほとんどが県許可に統合)。

2. 処分業については、「中間処理」と「最終処分」の両方の許可を有する者は、「最終処分」のみに計上した。

3. 「県内」とは、主たる事務所が県内にある処理業者をいい、それ以外を「県外」とした。

表 2-13 優良認定を受けた産業廃棄物処理業者の状況（各年度末現在）

			26年度 (2014)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)
優良認定 産業廃棄物 処理業者			124	140	171	186	204
産業廃棄物 収集運搬業	県	99	116	155	173	182	
	宇都宮市	2	2	2	2	2	
特別管理 産業廃棄物 収集運搬業	県	50	62	73	77	97	
	宇都宮市	0	0	0	0	0	
産業廃棄物 処分業	県	18	20	20	22	22	
	宇都宮市	4	5	4	4	4	
特別管理 産業廃棄物 処分業	県	2	2	2	2	3	
	宇都宮市	0	0	0	0	0	

注) 内数は認定件数。複数の許可に係る認定を受けている業者がいるため、業者数と件数は一致しない（県と市の両方で認定を受けている業者は「1業者」として計上）。

表 2-14 産業廃棄物処理業の許可等の状況（各年度末現在）

(単位：件)

項 目	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)
一般廃棄物処理施設設置許可	2	2	1	3
一般廃棄物処理施設の変更許可	3	3	-	3
一般廃棄物処理施設の譲受け等許可	-	-	-	-
一般廃棄物処理施設の設置法人合併又は分割認可	-	-	-	1
産業廃棄物収集運搬業許可	261	219	274	265
産業廃棄物収集運搬業許可更新	544	716	651	597
産業廃棄物処分業許可	3	3	4	3
産業廃棄物処分業許可更新	29	46	31	24
産業廃棄物収集運搬業の変更許可	55	55	57	62
産業廃棄物処分業の変更許可	2	4	2	4
特別管理産業廃棄物収集運搬業許可	23	17	27	40
特別管理産業廃棄物収集運搬業許可更新	66	51	85	110
特別管理産業廃棄物処分業許可	-	-	-	-
特別管理産業廃棄物処分業許可更新	2	-	-	1
特別管理産業廃棄物収集運搬業の変更許可	24	19	11	7
特別管理産業廃棄物処分業の変更許可	-	-	-	-
産業廃棄物処理施設設置許可	6	10	5	5
産業廃棄物処理施設の変更許可	3	2	1	2
産業廃棄物処理施設の譲受け等許可	2	1	-	-
産業廃棄物処理施設の設置法人合併又は分割認可	-	-	-	-
廃棄物再生事業者登録	-	1	-	-
小 計	1,025	1,149	1,149	1,127
県外産業廃棄物搬入事前協議	119	102	116	65
合 計	1,144	1,251	1,265	1,192

(5) 多量排出事業者の状況

廃棄物処理法では、前年度に産業廃棄物の発生量1,000トン、特別管理産業廃棄物の発生量50トンの基準以上に多量の産業廃棄物を生ずる事業場を設置している事業者は、産業廃棄物処理計画を作成し、提出しなければならないこととされている。また、計画書を提出した者は、提出の翌年度、当該計画の実施状況について報告しなければならない。

令和元(2019)年度は、本県において、産業廃棄物に関する処理計画書が237件、特別管理産業廃棄物に関する処理計画書が66件提出された。また、産業廃棄物に関する実施状況報告書が232件、特別管理産業廃棄物に関する実施状況報告書が68件提出された。

表 2 - 15 産業廃棄物処理計画等提出状況

	栃木県 (宇都宮市を除く。)				宇都宮市			
	処理計画		実施状況報告		処理計画		実施状況報告	
	産廃	特管	産廃	特管	産廃	特管	産廃	特管
平成27年度 (2015)	227	59	218	60	51	25	52	21
28年度 (2016)	229	58	231	58	54	24	54	23
29年度 (2017)	220	62	227	60	59	26	53	23
30年度 (2018)	230	67	220	63	55	26	63	25
令和元年度 (2019)	237	66	232	68	52	23	50	24

1. 栃木県、宇都宮市それぞれに提出している場合がある。
2. 事業者によっては、産業廃棄物、特別管理産業廃棄物それぞれを提出している場合がある。

2 PCB廃棄物の処理状況等

ポリ塩化ビフェニル（PCB）は、燃えにくく電気絶縁性に優れているため、変圧器やコンデンサー等の電気機器の絶縁油として広く使用されてきたが、有害であることが判明したため、現在は新たな製造が禁止されている。

平成13(2001)年6月に制定された「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」では、PCB廃棄物を保管する事業者に対して毎年の保管及び処分の状況の届出や適正な保管等を義務付けるとともに、処理体制の整備を図った上で令和9(2027)年3月末までに全てのPCB廃棄物の処理を完了することとしている。

表2-16 県内で保管されているPCB廃棄物の処分期間及び処理施設

廃棄物の種類	処分期間	処理施設
高濃度PCB廃棄物		
変圧器・コンデンサー	令和4(2022)年3月末まで	JESCO(※1) 北海道PCB処理事業所(室蘭市)
安定器及び汚染物等	令和5(2023)年3月末まで	JESCO 北海道PCB処理事業所(室蘭市)
低濃度PCB廃棄物	令和9(2027)年3月末まで	無害化処理認定施設等(※2)

※1 JESCO(中間貯蔵・環境安全事業株)：100%国出資で設立し、全国で5事業所

※2 無害化処理認定施設等：環境大臣が認定する無害化処理認定施設及び都道府県知事等が許可する施設

表2-17 県内のPCB廃棄物保管状況(届出に基づく)[平成30(2018)年度末現在]

種類	単位	保管数量		
		高濃度 PCB廃棄物	低濃度 PCB廃棄物	合計
変圧器	台	5	1,188	1,193
コンデンサー(3kg以上)	台	512	403	915
コンデンサー(3kg未満)	台	7,497	1,211	8,708
柱上変圧器	台	0	4,396	4,396
安定器	台	12,240	0	12,240
PCBを含む油	kg	514	34,170	34,684
感圧複写紙	kg	0	375	375
ウエス	kg	105	9,365	9,470
OFケーブル	kg	0	0	0
汚泥	kg	2,132	110,194	112,326
塗膜	kg	0	9	9
その他機器等	台	1,055	457	1,512

(注) 1 ドラム缶等の各種容器にまとめて保管している場合など、台数(個数)や重量で計上できないものについては、除外している

2 宇都宮市が所管する届出分も含む

表2-18 県内から排出された高濃度PCB廃棄物の処理実績[平成30(2018)年度末現在]

	変圧器	コンデンサー	安定器及びPCB汚染物等
平成30(2018)年度	6 台	319 台	12,454 kg
累計(H20年度～)	104 台	5,240 台	225,621 kg

(注) PCB汚染物等：PCBにより汚染された安定器、3kg未満の小型電気機器、感圧複写紙、ウエス、汚泥及びその他の汚染物

第3 共通（一般廃棄物・産業廃棄物）

1 各種リサイクル法等の運用等

容器包装リサイクル法、自動車リサイクル法等の各種リサイクル法等においては、独自のリサイクルシステム等が構築されており、市町等及び関連事業者において、廃棄物の回収、引取り等が行われている。

① 容器包装リサイクル法

平成30(2018)年度における容器包装リサイクル法に基づく分別収集量は、約3万5千トンであり、このうち、段ボールは約8千トン、プラ製容器は約6千トン回収されている（表3-1）。

② 自動車リサイクル法

平成31(2019)年3月末現在における自動車リサイクル法に基づく登録及び許可の状況は、引取業者422事業者、フロン類回収業者189事業者、解体業者111事業者、破砕業者18事業者であり、破砕業者のうち、12事業者は破砕前処理のみを行う者であり、6事業者は破砕処理を行う者である（表3-2）。

また、県では、栃木県リサイクル製品認定制度に基づき、循環資源を原料の全部又は一部に利用して製造されるリサイクル製品を「わちの環エコ製品」として認定している。

令和2(2020)年3月末現在における認定数は119製品であり、そのうち、35製品が再生アスファルト混合物、29製品が再生路盤材である（表3-3）。

なお、県では、リサイクルを行う中間処理施設の産業団地等への設置について、その手続を一部緩和しており、令和2(2020)年4月現在で、78施設のリサイクル施設が県内の産業団地等に立地している状況である（表3-4）。

表3-1 容器包装リサイクル法に基づく分別収集量(平成30(2018)年度)

(単位:t)

市町	無色 ガラス	茶色 ガラス	その他 ガラス	ペット ボトル	紙製容器 (紙パック・ 段ボールを 除く。)	プラ製 容器	白色トレイ	スチール製 容器	アルミ製 容器	飲料用 紙パック	段ボール	合計
宇都宮市	487.9	591.3	137.2	1,956.8	-	3,325.9	4.0	710.9	624.8	111.7	2,572.2	10,523
足利市	371.9	375.5	167.1	328.8	-	-	-	251.8	181.7	2.4	722.9	2,402
栃木市	352.9	460.2	164.7	522.7	-	14.6	-	222.8	206.0	16.0	636.7	2,597
佐野市	186.7	245.8	79.1	185.5	-	-	0.6	94.9	59.6	3.6	171.5	1,027
鹿沼市	86.4	172.8	41.6	227.4	87.7	478.5	1.6	140.5	142.4	8.1	390.4	1,777
日光市	295.0	343.4	203.6	307.6	-	-	0.1	122.5	150.5	3.9	573.6	2,000
小山市	101.8	212.4	309.5	475.4	-	1,309.9	-	87.6	176.3	9.6	467.0	3,150
真岡市	135.5	144.3	45.1	122.7	-	-	-	68.6	55.9	7.4	256.6	836
大田原市	239.1	274.0	130.0	205.9	13.1	-	0.2	118.8	133.2	2.0	282.9	1,399
矢板市	4.6	2.4	281.6	50.7	-	-	-	131.1	57.5	-	-	528
那須塩原市	114.9	300.6	72.8	211.2	-	-	10.4	116.0	156.2	5.9	478.6	1,467
さくら市	3.8	2.4	276.4	76.5	4.0	5.2	0.5	141.5	61.8	4.6	121.5	698
那須烏山市	69.2	106.5	36.2	71.4	-	-	-	39.0	2.0	0.3	119.6	444
下野市	35.6	67.6	120.4	333.3	-	537.8	-	93.2	109.6	4.5	286.8	1,589
上三川町	42.0	54.1	9.7	61.7	-	205.3	1.9	61.4	69.6	2.8	220.2	729
益子町	59.1	62.1	20.2	22.0	-	-	-	11.1	9.9	-	9.8	194
茂木町	39.8	41.3	13.0	23.3	-	-	-	10.0	8.6	-	2.7	139
市貝町	26.2	28.2	8.8	22.8	-	-	-	8.5	7.2	-	22.2	124
芳賀町	37.8	40.4	12.8	19.8	-	61.2	-	8.0	6.8	-	3.9	191
壬生町	99.6	99.0	40.4	178.0	26.9	2.1	7.0	143.8	52.2	5.4	241.8	896
野木町	14.7	30.6	44.3	67.2	-	101.6	-	12.4	25.2	0.2	152.5	449
塩谷町	1.3	0.8	91.6	31.8	-	-	-	47.5	20.7	0.1	47.7	242
高根沢町	3.0	2.0	212.5	43.6	-	12.9	-	98.9	43.4	2.9	85.4	505
那須町	114.5	147.2	147.1	57.8	-	76.2	0.7	32.8	36.8	7.2	166.8	787
那珂川町	51.2	86.8	24.1	42.7	-	-	-	34.0	7.7	1.3	84.9	333
30年度 (2018)	2,975	3,892	2,690	5,647	132	6,131	27	2,808	2,406	200	8,118	35,026
29年度 (2017)	3,086	3,937	2,724	5,354	133	5,432	28	3,019	2,397	214	8,103	34,427
28年度 (2016)	3,194	4,209	2,852	5,160	147	6,554	34	3,109	2,448	245	8,311	36,263
27年度 (2015)	3,247	4,265	2,899	4,658	156	5,323	33	3,444	2,504	250	9,115	35,893
26年度 (2014)	3,280	4,410	2,793	4,738	158	6,837	35	3,778	2,395	261	9,582	38,266
25年度 (2013)	3,245	4,489	3,326	5,024	170	7,095	38	4,099	2,365	277	9,608	39,736
24年度 (2012)	3,338	4,975	3,518	5,240	158	6,697	42	4,356	2,339	299	9,655	40,616
23年度 (2011)	3,533	5,007	3,729	5,550	166	6,687	45	4,668	2,332	329	10,412	42,457
22年度 (2010)	3,594	5,131	3,725	5,548	161	5,538	58	4,618	2,366	358	9,978	41,076
21年度 (2009)	3,446	5,081	3,845	5,160	165	2,147	47	5,255	2,349	165	9,744	37,404

(注) 1 出典:「平成30年度容器包装リサイクル法に基づく分別収集量等調査」

2 一部市町においては、「プラ製容器」に「白色トレイ」を含む場合がある。

表 3-2 自動車リサイクル法（登録・許可業者数）（各年度末現在）

	登録業者数				許可業者数					
	引取業		フロン類回収業		解体業		破砕業 (破砕前処理のみ)		破砕業 (破砕処理含む)	
	29年度 (2017)	30年度 (2018)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	29年度 (2017)	30年度 (2018)
栃木県 (宇都宮市を除く。)	325	323	144	146	95	93	12	12	5	5
宇都宮市	101	99	46	43	18	18	0	0	1	1
合計	426	422	190	189	113	111	12	12	6	6

表 3-3 とちの環エコ製品の認定件数（各年度末現在）

(単位:件)

品目名	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)	平成 30 年度 (2018)	令和元年度 (2019)
肥料	6	6	7	8	8
土壌改良材、緑化材、培養土	5	5	5	6	6
造園材	8	5	5	5	4
建築用製品	1	1	1	1	6
再生路盤材	30	31	31	29	29
再生アスファルト混合物	33	34	35	35	35
エコスラグ	—	—	2	2	2
盛土材、路盤材等	7	10	9	9	9
コンクリート二次製品	14	14	14	12	13
その他製品	3	4	4	4	7
合計	107	110	113	111	119

表 3-4 県内の産業団地等におけるリサイクル施設の立地件数（令和 2（2020）年 4 月 1 日現在）

(単位:件)

廃棄物 処理法	容器包装 リサイクル法	家電 リサイクル法	自動車 リサイクル法	小型家電 リサイクル法	食品 リサイクル法	延べ施設数 〔実施設数〕
95	3	2	8	2	0	110〔78〕
(95)	(3)	(2)	(8)	(2)	(0)	(110〔78〕)

1. 県内の産業団地及び工業専用地域におけるリサイクル施設の立地件数。
2. 同一施設が複数のリサイクル法等に基づく許可等を有している場合がある。
3. () 内の数値は平成 31(2019)年 4 月 1 日現在の値。

2 県内における廃棄物の不適正処理等の状況

(1) 不法投棄の状況

平成30(2018)年度における、一般廃棄物及び産業廃棄物の不法投棄件数、不法投棄量は、ともに前年度と比べ増加した。不法投棄撲滅のためには不断の監視が必要であり、県では監視体制強化のための施策を継続して実施する。

県では、民間警備会社に委託し、休日・夜間の監視パトロールを充実させるとともに、監視カメラによる監視活動やヘリコプターを利用したスカイパトロールの実施、GPS発信機を利用して廃棄物が適正に運搬・処理されることを検証する「廃棄物処理検証システム」を活用している。

また、5月には栃木県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会（県、県警本部、宇都宮市、（公社）栃木県産業資源循環協会）を開催し、関係機関の連携強化を図るとともに、6月の環境月間では、不法投棄パトロール出発式を皮切りに、山林、河川、空き地等への廃棄物の不法投棄を防止するため、市町等関係機関の協力を得て不法投棄の一斉監視を行った。

さらに、各市町及び各環境森林事務所等においては、市町廃棄物監視員や周辺住民からの通報等により、不法投棄物の現地確認等を行うとともに投棄者等の調査を実施し、不法投棄された廃棄物の撤去の促進を図っている。

加えて、東京電力パワーグリッド(株)栃木総支社、（公社）栃木県産業資源循環協会、栃木県森林組合連合会、栃木県法面保護施設業協会及びヤマト運輸(株)栃木主管支店と「不法投棄情報提供に関する協定」を締結するなどして不法投棄の早期発見、未然防止等のための対策を強化している。

表3-5 一般廃棄物の種類別不法投棄量

(平成30(2018)年度)

種類	件数	割合 (%)	量 (m ³)	割合 (%)
可燃ごみ	231	31.6	474	35.5
不燃ごみ	131	17.9	234	17.5
粗大ごみ	243	33.3	471	35.3
その他	125	17.1	157	11.8
合計	730	100.0	1,336	100.0

表3-6 産業廃棄物の種類別不法投棄量

(平成30(2018)年度)

種類	件数	割合 (%)	量 (m ³)	割合 (%)
汚泥	-	-	-	-
廃プラスチック類	23	34.3	84	4.4
木くず	3	4.5	14	0.7
動植物性残さ	-	-	-	-
金属くず	3	4.5	8	0.4
ガラスくず等	4	6.0	815	42.6
鉱さい	-	-	-	-
がれき類	19	28.4	941	49.2
動物のふん尿	1	1.5	1	0.1
その他	14	20.9	51	2.7
合計	67	100.0	1,914	100.0

(表3-5～7について詳細は、表3-8～9)

表3-7 不法投棄の推移

	一般廃棄物		産業廃棄物	
	件数	量 (m ³)	件数	量 (m ³)
14(2002)年度	751	1,717	175	12,996
15(2003)年度	730	2,286	161	15,946
16(2004)年度	978	2,069	173	22,181
17(2005)年度	529	1,627	185	38,632
18(2006)年度	912	3,510	191	9,338
19(2007)年度	882	2,548	210	13,567
20(2008)年度	958	4,039	192	19,548
21(2009)年度	1,159	4,445	139	5,846
22(2010)年度	1,300	3,371	170	7,459
23(2011)年度	1,709	2,866	121	9,406
24(2012)年度	1,070	1,812	95	5,302
25(2013)年度	1,115	1,778	125	1,564
26(2014)年度	1,128	1,743	95	2,163
27(2015)年度	1,331	4,228	95	2,366
28(2016)年度	744	1,002	109	1,051
29(2017)年度	692	1,196	63	850
30(2018)年度	730	1,336	67	1,914

注) 項目ごとに四捨五入しているため、合計値と一致しない場合がある。

表3-8 一般廃棄物不法投棄件数等調査結果(平成30(2018)年度)

	不法投棄排出地域別件数										投棄概算量		撤去概算量	
	県内					県外					合計		F	F/E
	件数 A	割合 A/D	件数 B	割合 B/D	不明	件数 C	割合 C/D	件数 D	合計	件数 E				
可燃ごみ	33	14.3	1	0.4	197	85.3	231	474	457	96.4				
不燃ごみ	0	0.0	0	0.0	131	100.0	131	234	215	91.9				
粗大ごみ	0	0.0	0	0.0	243	100.0	243	471	445	94.5				
その他	1	0.8	0	0.0	124	99.2	125	157	137	87.3				
合計	34	4.7	1	0.1	695	95.2	730	1,336	1,254	93.9				

注) 項目ごとに四捨五入しているため、合計値と一致しない場合がある。

表3-9 産業廃棄物不法投棄件数等調査結果(平成30(2018)年度)

	不法投棄排出地域別件数										投棄概算量		撤去概算量	
	県内					県外					合計		F	F/E
	件数 A	割合 A/D	件数 B	割合 B/D	不明	件数 C	割合 C/D	件数 D	合計	件数 E				
汚泥	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0.0				
廃プラスチック類	1	4.3	1	4.3	21	91.3	23	84	54	64.3				
木くず	1	33.3	0	0.0	2	66.7	3	14	4	28.6				
動植物性残さ	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0.0				
金属くず	0	0.0	0	0.0	3	100.0	3	8	3	37.5				
ガラスくず等	1	25.0	1	25.0	2	50.0	4	815	0	0.0				
鉱さい	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0.0				
がれき類	4	21.1	0	0.0	15	78.9	19	941	23	2.4				
動物のふん尿	0	0.0	0	0.0	1	0.0	1	1	0	0.0				
その他	1	7.1	0	0.0	13	92.9	14	51	27	52.9				
合計	8	11.9	2	3.0	57	85.1	67	1,914	111	5.8				

注) 項目ごとに四捨五入しているため、合計値と一致しない場合がある。

(2) 立入検査、指導及び行政処分の状況

産業廃棄物の適正な処理を指導するため、排出事業者及び産業廃棄物処理業者の事業所に立入検査等を行っている。

ア 立入検査、指導の状況（平成30(2018)年度）

県では、産業廃棄物排出事業者及び産業廃棄物処理業者等に対して、延べ2,675件の立入検査を実施した。

立入による指導内容は、保管施設に関するものが多くを占めている。

① 県内に立地している排出事業者への立入検査

産業廃棄物の排出事業者など県内に立地している事業所を対象に、延べ1,634件の立入検査を実施し、産業廃棄物の発生状況、保管状況、処理及び委託の方法等について監視指導を行った。

② 収集運搬・中間処理・最終処分業者等への立入検査

収集運搬業者の事業所、処理業者の設置している積替保管施設、中間処理施設、最終処分場を対象に延べ1,041件の立入検査を実施し、施設の維持管理等について監視指導を行った。

③ 口頭指導、文書指導状況

立入検査に当たって、342件の口頭指導、296件の文書指導を行った。

イ 行政処分の状況（平成30(2018)年度）

8件の産業廃棄物処理業許可の取消しを行った。

表3-10 産業廃棄物関係立入検査等件数(平成30(2018)年度)

内容	対象	計(件)	環境森林事務所等の内訳(件)					
			県西	県東	県北	県南	小山	廃棄物対策課
立入検査	事業者	1,634	303	310	254	274	493	0
	処理業者	1,041	161	99	423	99	256	3
	公共	0	0	0	0	0	0	0
	計(件)	2,675	464	409	677	373	749	3
口頭指導	事業者	154	7	24	38	33	52	0
	処理業者	188	1	9	59	24	95	0
	公共	0	0	0	0	0	0	0
	計(件)	342	8	33	97	57	147	0
文書指導	事業者	126	6	23	13	17	67	0
	処理業者	170	10	33	37	15	74	1
	公共	0	0	0	0	0	0	0
	計(件)	296	16	56	50	32	141	1

表3-11 立入検査による指導状況(平成30(2018)年度)

指導項目	計(件)	環境森林事務所等の内訳(件)					
		県西	県東	県北	県南	小山	廃棄物対策課
処理施設関係	105	1	7	29	17	51	0
保管施設関係	218	8	29	35	38	108	0
委託基準関係	112	2	25	2	22	61	0
帳簿記載関係	33	0	0	2	0	31	0
その他	263	15	37	80	76	54	1
合計(件)	731	26	98	148	153	305	1

表3-12 行政処分等の状況（平成30(2018)年度）

	処 分 内 容	件 数	根 拠
1	産業廃棄物管理票の使用等に関する勧告	-	法第12条の6
2	産業廃棄物収集運搬業許可申請不許可処分	3	法第14条第5項
3	産業廃棄物処分業許可申請不許可処分	-	法第14条第10項
4	産業廃棄物収集運搬業停止命令	-	法第14条の3
5	産業廃棄物処分業停止命令	-	
6	産業廃棄物収集運搬業許可取消し	7	法第14条の3の2
7	産業廃棄物処分業許可取消し	1	
8	特別管理産業廃棄物収集運搬業許可申請不許可処分	-	法第14条の4第5項
9	特別管理産業廃棄物処分業許可申請不許可処分	-	法第14条の4第10項
10	特別管理産業廃棄物収集運搬業停止命令	-	法第14条の6
11	特別管理産業廃棄物処分業停止命令	-	
12	特別管理産業廃棄物収集運搬業許可取消し	-	
13	特別管理産業廃棄物処分業許可取消し	-	
14	産業廃棄物処理施設の停止命令	-	法第15条の2の7
15	産業廃棄物処理施設許可取消し	1	法第15条の3
16	事業者からの報告徴収	9	法第18条
17	処理業者からの報告徴収	17	
18	産業廃棄物処理施設設置者への改善命令	-	法第15条の2の7
19	産業廃棄物処理基準違反に対する改善命令	2	法第19条の3
20	産業廃棄物処理基準違反に対する措置命令	-	法第19条の5
21	排出事業者への措置命令	-	法第19条の6
22	告発	-	

※同一業者が2以上の行政処分等を受けた場合は、件数はそれぞれ計上している。

第4 栃木県廃棄物処理計画の進捗状況

栃木県廃棄物処理計画（計画期間：平成28(2016)年度～令和2(2020)年度）では、三つのテーマを掲げ、テーマごとに目標を定めた上で、その達成状況を測るための指標を設定している。

また、環境大臣が定める基本方針に準じて、廃棄物の排出量等に関する参考値を設定し、その推移を定期的に確認することとしている。

平成30(2018)年度におけるテーマごとの指標及び基本方針に準じた参考値の進捗状況は、次のとおりである。既に目標達成した指標もあるが、引き続き、県民、排出事業者、処理業者等の各主体と連携を図りながら、各種施策を展開していく必要がある。

(1) テーマごとの指標

テーマ	指標	基準【H25年度】(2013)	現況【H30年度】(2018)	目標【R2年度】(2020)	備考
テーマ1 廃棄物の排出量を減らす	県民1人1日当たりの生活系一般廃棄物の排出量(資源物及び集団回収に係るものを除く。)	560g/人・日	550g/人・日	521g/人・日	29g/人・日の削減が必要
	県内の産業による生産額(実質)1億円当たりの産業廃棄物の排出量(農業及び鉱業に係るものを除く。)	52.3t/億円 ^{※1}	51.1t/億円 ^{※2}	48.8t/億円 ^{※1}	2.3t/億円の削減が必要
テーマ2 廃棄物を処理する	「とちの環エコ製品」の認定件数	97件 ^{※3}	119件 ^{※4}	112件	—
	県内で排出された一般廃棄物の最終処分量	62千t	57千t	55千t	2千tの削減が必要
	県内で排出された産業廃棄物の最終処分量	89千t	87千t	88千t	—
テーマ3 廃棄物処理施設の整備を促進し、廃棄物・リサイクル産業を育成する	県内で優良認定を受けた産業廃棄物処理業者の数	124事業者 ^{※3}	204事業者	300事業者	96件の増加が必要
	県内の産業団地等におけるリサイクル施設の立地件数	79件 ^{※3}	78件 ^{※4}	増加を目指す	2件の増加が必要

※1 県民経済計算における県内総生産の推計方法改定に伴い、基準値及び目標値を再設定

※2 平成30(2018)年度の県内の産業による生産額(実質)が不明(調査未了)のため、平成29(2017)年度の値

※3 平成26(2014)年度末の現況値を基準に設定

※4 令和元(2019)年度末の値

(2) 環境大臣が定める基本方針に準じた参考値

廃棄物の区分	項目	基準【H25年度】(2013)	現況【H30年度】(2018)	参考値【R2年度】(2020)
一般廃棄物	排出量	690千t	664千t	614千t
	生活系	513千t	486千t	461千t
	事業系	177千t	178千t	154千t
	再生利用率	17.5%	16.0%	25.0%
産業廃棄物	排出量	4,167千t	4,380千t	4,292千t
	再生利用率	50.8%	50.2%	53.0%

第5 土砂条例

1 条例のあらまし

土砂等の埋立てによる土壌の汚染や土砂等の崩落、飛散又は流出による災害の発生を未然に防止することを目的に、埋立て等に使用される土砂等の安全基準を定め、安全基準に適合しない不適正な土砂等の埋立て等を禁止するとともに、一定面積（県の場合 3,000 平方メートル）以上の区域をその区域以外の場所から採取された土砂等で埋立てを行う場合（以下「特定事業」という。）について許可制を設けている（施行期日：平成 11(1999)年 4 月 1 日）。

なお、施行後の状況変化や、適正かつ計画的な埋立て事業の実施、現場の管理体制の充実・確保等、一層の適正化を図るため、平成 17(2005)年 12 月に一部改正を行い、平成 18(2006)年 7 月 1 日より施行した。

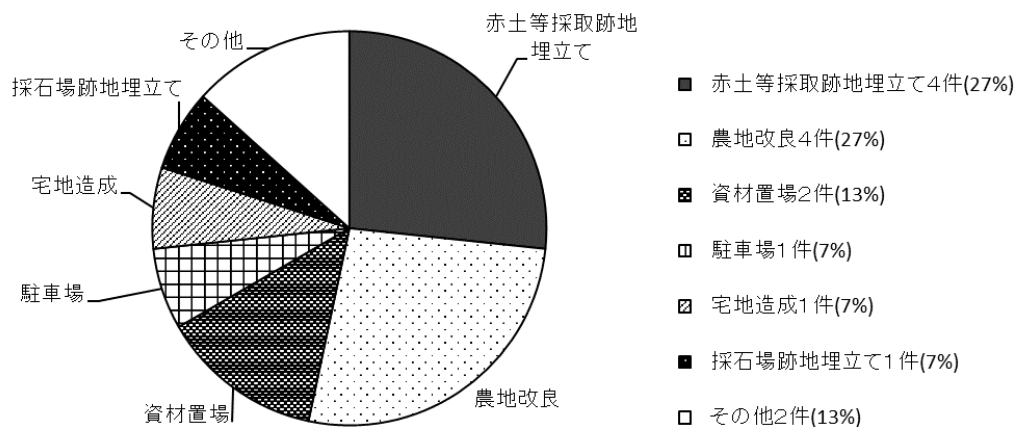
また、平成 21(2009)年 4 月に土壌汚染対策法が一部改正されたことに伴い、平成 21(2009)年 12 月に一部改正を行い、平成 22(2010)年 4 月 1 日より施行した。平成 23(2011)年 3 月に「民法等の一部を改正する法律」が施行されたことに伴い、平成 24(2012)年 3 月に一部改正を行い、平成 24(2012)年 4 月 1 日より施行した。

2 土砂条例許可申請状況

許可申請状況（新規申請に限る。）（各年度末現在） （単位：件、㎡）

	申請件数			申請面積（特定事業区域面積）		
	28 年度 (2016)	29 年度 (2017)	30 年度 (2018)	28 年度 (2016)	29 年度 (2017)	30 年度 (2018)
県西環境森林事務所	-	-	-	-	-	-
県東環境森林事務所	6	10	7	40,599	62,649	57,743
県北環境森林事務所	3	6	4	15,037	48,483	26,516
県南環境森林事務所	-	-	-	-	-	-
小山環境管理事務所	7	3	4	46,030	16,647	29,990
廃棄物対策課	-	-	-	-	-	-
合 計	16	19	15	101,666	127,779	114,249

利用目的別内訳(平成30(2018)年度)



3 市町土砂条例の制定状況等

県条例制定に対応し、県内の各市町において県条例対象規模面積未滿の特定事業に対する許可制度を内容とする条例が制定されている。

市 町 土 砂 条 例 の 制 定 状 況 (令和2(2020)年4月1日現在)

	市 町 名	施行時期	規 制 の 内 容	特 記 事 項
1	宇 都 宮 市	H12(2000).4	500㎡以上 ~	H18(2006).7.1~ 県条例適用除外
2	足 利 市	H12(2000).4	500㎡ 超 ~	H20(2008).4.1~ 県条例適用除外
3	栃 木 市	H11(1999).10	500㎡以上 ~	H19(2007).10.1~ 県条例適用除外
4	佐 野 市	H17(2005).2	500㎡以上 ~	H22(2010).4.1~ 県条例適用除外
5	鹿 沼 市	H11(1999).9	500㎡以上 ~	H24(2012).4.1~ 県条例適用除外
6	日 光 市	H18(2006).7	500㎡以上 ~	H21(2009).4.1~ 県条例適用除外
7	小 山 市	H12(2000).4	500㎡以上 ~ 3,000㎡未滿	
8	真 岡 市	H12(2000).6	500㎡以上 ~ 3,000㎡未滿	
9	大 田 原 市	H12(2000).4	1,000㎡以上 ~	H19(2007).4.1~ 県条例適用除外
10	矢 板 市	H12(2000).7	1,000㎡以上 ~ 3,000㎡未滿	
11	那 須 塩 原 市	H17(2005).1	1,000㎡以上 ~ 3,000㎡未滿	
12	さ く ら 市	H17(2005).3	1,000㎡以上 ~ 3,000㎡未滿	
13	那 須 烏 山 市	H17(2005).10	1,000㎡以上 ~ 3,000㎡未滿	
14	下 野 市	H18(2006).1	500㎡以上 ~ 3,000㎡未滿	
15	上 三 川 町	H12(2000).4	500㎡以上 ~ 3,000㎡未滿	
16	益 子 町	H13(2001).7	1,000㎡以上 ~ 3,000㎡未滿	
17	茂 木 町	H12(2000).4	500㎡以上 ~ 3,000㎡未滿	
18	市 貝 町	H13(2001).7	500㎡以上 ~ 3,000㎡未滿	
19	芳 賀 町	H13(2001).7	500㎡以上 ~ 3,000㎡未滿	
20	壬 生 町	H12(2000).6	500㎡以上 ~ 3,000㎡未滿	
21	野 木 町	H 2(1990).12	300㎡以上 ~	H21(2009).4.1~ 県条例適用除外
22	塩 谷 町	H12(2000).7	1,000㎡以上 ~ 3,000㎡未滿	
23	高 根 沢 町	H12(2000).7	1,000㎡以上 ~ 3,000㎡未滿	
24	那 須 町	H12(2000).4	1,000㎡以上 ~ 3,000㎡未滿	
25	那 珂 川 町	H17(2005).10	1,000㎡以上 ~ 3,000㎡未滿	
備考			300㎡以上 許可 1町(野木町) 500㎡以上 許可 13市町 500㎡超 許可 1市(足利市) 1,000㎡以上 許可 10市町	

第6 一部事務組合設置状況

(令和2(2020)年4月1日現在)

名 称	設立時期	共同処理する事務	構成市町村	事務所住所
那須地区広域行政事務組合 (那須地区保健衛生組合) 【管理者：大田原市長】	S36(1961). 5.13 [名称変更] S48(1973). 4.1	◆ <u>一般廃棄物処理業(ごみを除く)の許可及び浄化槽清掃業の許可、し尿及び浄化槽汚泥の処分及び処理施設の管理運営、黒羽グリーンオアシスの設置及び管理運営、共同一般廃棄物最終処分場の設置及び管理運営、広域クリーンセンター大田原の管理運営、共同ごみ処理施設の建設、と畜場の設置並びに維持管理、職員の共同研修、広域研修センターの設置及び管理運営、在宅当番医制の実施及び病院群輪番制病院運営事業に係る補助金の交付、小児救急拠点病院運営事業に係る補助金の交付、障害児通所支援事業所の設置及び管理運営、那須地区夜間急患診療所の管理運営</u>	大田原市 那須塩原市 那須町	〒329-3144 那須塩原市 沼野田和439 那須地区広域研修センター内 TEL0287-65-3611
佐野地区衛生施設組合 (県南地区し尿処理組合) 【組合長：佐野市長】	S36(1961). 10.27 [名称変更] S49(1974). 9.1	◆ <u>し尿処理に関する施設の設置及び管理運営(栃木市は旧岩舟町及び旧藤岡町の区域に限る)、斎場及び火葬場の設置及び管理運営(栃木市は旧岩舟町及び旧藤岡町の区域に限る)</u>	佐野市 栃木市	〒327-0835 佐野市植下町 2550 TEL0283-24-8424
芳賀郡中部環境衛生事務組合 【管理者：益子町長】	S43(1968). 8.16	◆ <u>一般廃棄物処理施設(し尿処理施設を除く)の設置及び管理運営、ごみの収集、運搬及び処分</u>	益子町 貝町 芳賀町 茂木町	〒321-4106 芳賀郡益子町 七井3974 TEL0285-72-2243
芳賀地区広域行政事務組合 【組合長：真岡市長】	S46(1971). 4.1	◆ <u>し尿の収集処分、消防(消防団を除く)、斎場の設置並びに維持管理、職業訓練施設の設置及び維持管理、職員の共同研修、卸売市場の設置及び維持管理、職員の共同採用試験、病院群輪番制病院運営及び小児救急拠点病院運営に係る補助金の交付に関する事務、広域的な地域振興事業の実施に関する事務、液化石油ガス設備工事届の受理に関する事務、<u>ごみ処理施設の設置及び管理運営に関する事務(現に真岡市及び芳賀郡中部環境衛生事務組合がそれぞれ設置している施設に関するものを除く)</u>、移動系防災行政無線設備のうち、統制局整備及び基地局整備の整備及び管理に関する事務</u>	真岡市 益子町 茂木町 市貝町 芳賀町	〒321-4415 真岡市下籠谷 4412 TEL0285-82-9151

名 称	設立時期	共同処理する事務	構成市町村	事務所住所
南那須地区広域行政事務組合 【組合長： 那須烏山市長】	S47(1972)4 .1	◆救急医療対策事業のうち在宅当番医制事業、病院群輪番制病院運営事業及び小児救急医療支援事業の実施に関する事務、病院の設置及び管理運営に関する事務、火葬場の設置及び管理運営に関する事務、 <u>し尿処理施設の設置及び管理運営に関する事務、ごみ処理施設の設置及び管理運営に関する事務</u> 、消防に関する事務(消防団に関する事務を除く。)、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(昭和42年法律第149号)に基づく液化石油ガス設備工事届の受理に関する事務	那須烏山市 那珂川町	〒321-0602 那須烏山市 大桶 872 TEL0287-83-0021
塩谷広域行政組合 【管理者： さくら市長】	S54(1979). 4.1	◆広域市町村圏計画の策定及び連絡調整、消防(消防団を除く)、火葬場の設置及び運営、 <u>ごみ処理施設及びし尿処理施設の設置及び運営</u> 、児童発達支援施設の設置、在宅当番医制の実施及び病院群輪番制病院運営に係る補助金の交付に関する事務、ふるさと市町村圏計画の策定及び事業の実施に関する事務、液化石油ガス設備工事届の受理に関する事務	矢板市 さくら市 塩谷町 高根沢町	〒329-1572 矢板市安沢 3622-1 TEL0287-48-2066
小山広域保健衛生組合 【管理者：小山市長】	S58(1983). 4.1	◆ <u>し尿処理に関する施設の建設及び管理運営(全市町)、ごみ処理に関する施設の建設及び管理運営(上三川町を除く、下野市の旧石橋町の区域はプラスチック製容器包装、可燃系資源、剪定枝、不燃ごみ、不燃系粗大ごみ、不燃系資源、有害ごみ、小型家電に係るごみ処理に関する事務に限る。)</u> 、斎場及び火葬場の建設及び管理運営(上三川町を除く、下野市は旧南河内町及び旧国分寺町の区域に限る。)、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に規定する健康診断に関する事務(上三川町を除く)、休日急患診療施設の管理運営及び診療に関する事務(全市町)	小山市 下野市 上三川町 野木町	〒323-0043 小山市塩沢604 TEL0285-22-2809

VERY 
GOOD
LOCAL

とちぎ

とちぎブランド推進のキャッチフレーズ

ベリー グッド ローカル とちぎ
VERY  GOOD LOCAL

「グッドローカルなとちぎが地方のモデルになっていこう。」
ローカルの良さが詰まったとちぎが、前向きな決意を込めて宣言します。